

平成 28 年度
交通安全指導者養成講座運営支援業務

事業報告書

平成 28 年 12 月 12 ~ 14 日

アルカディア市ヶ谷



平成 29 年 2 月

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)

目次

1. 講座概要	2
2. 日程表	4
3. 講義概要	6
開講式・主催者挨拶	6
金子 健(内閣府 交通安全対策担当参事官)	
講義「交通安全指導における効果的な話し方」	9
藤原 徳子(株式会社ビジネスファーム)	
講義「紙芝居の演じ方」	17
おの いづみ(イラストレーター)	
グループ討議	22
講義「いきいき運転講座」	29
池田 佳代(株式会社コンセプト)	
講義「プロドライバーから見た交通安全」	33
篠塚 建次郎(ラリードライバー)	
講義「交通安全教育デモンストレーション」	37
警視庁交通総務課安全教育係	
事例発表	40
講義「子どもの交通行動を理解するための心理学」	43
山口 直範(大阪国際大学人間科学部人間健康科学科准教授)	
閉講式・主催者挨拶	49
和田 昭夫(内閣府 大臣官房審議官)	
4. アンケート集計結果	50

1. 講座概要

目的

本事業は、地域住民の交通安全意識の向上、交通安全思想の普及・浸透及び交通事故防止のための街頭活動、交通安全教育等を行っている交通指導員(シルバーリーダーを含む。)及びこれら交通指導員を指導育成する立場にある者(交通指導員等)に対し、交通安全教育に関する基礎的理論及びその実践的手法に関する知識・技能を習得させ、指導的役割を担う者を養成することにより、その効果的な活動を促進し、安全で快適な交通社会を形成することを目的として実施する。

期間

平成 28 年 12 月 12 日(月)	受付 12:45 ~ 13:15	講座 13:30 ~ 17:00
平成 28 年 12 月 13 日(火)	受付 9:00 ~ 9:30	講座 9:30 ~ 17:00
平成 28 年 12 月 14 日(水)	受付 9:00 ~ 9:30	講座 9:30 ~ 11:55

会場

「アルカディア市ヶ谷」

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25

【アクセス】

- ・JR 中央線 「市ヶ谷」駅より徒歩 2 分
- ・地下鉄新宿線 「市ヶ谷」駅より徒歩 2 分
- ・地下鉄・有楽町線・南北線 「市ヶ谷」駅より徒歩 2 分

受講者

【対象者】

交通指導員：

都道府県又は市区町村の長等から委嘱を受け、交通安全を目的として街頭活動、交通安全教育、広報啓発活動に従事している交通ボランティア(高齢者交通ボランティアであるシルバーリーダーを含む)

交通指導員を指導育成する立場にある者：

交通指導員の指導者及び都道府県又は市区町村の交通安全対策主管課の職員

【受講者数】

122 名

配布資料

講座のしおり

- 「交通安全指導における効果的な話し方」講義資料
- 「紙芝居の演じ方」講義資料
- 「いきいき運転講座」講義資料
- ・いきいき運転講座 DVD「いきいき運転講座」開催マニュアル
- ・すすめ方の手引き、指導者冊子
- ・交通脳トレ
- ・交通安全トレーニング用ワークシート
- ・活用好事例
- ・いきいき運転講座の効果(記事)
- 「プロドライバーから見た交通安全」講義資料

事例発表資料

- ・熊本県 山下様 折り方資料(ハッピーくす玉、バースデイキャンドル)
- 「子どもの交通行動を理解するための心理学」講義資料
- アンケート(兼 講師への質問用紙)

2. 日程表

[1日目:12月12日(月)]

時間	プログラム	会場
12:45 ~ 13:15	受付	受付(6F)
13:15 ~ 13:30	オリエンテーション	霧島(6F)
13:30 ~ 13:45	開講式・主催者挨拶	霧島(6F)
	金子 健(内閣府 交通安全対策担当参事官)	
13:45 ~ 15:45	講義「交通安全指導における効果的な話し方」	霧島(6F)
	藤原 徳子(株式会社ビジネスファーム)	
15:45 ~ 16:00	休憩(15分)	
16:00 ~ 17:00	講義「紙芝居の演じ方」	霧島(6F)
	おの いづみ(イラストレーター)	

[2日目:12月13日(火)]

時間	プログラム	会場
9:00 ~ 9:30	受付・連絡等	受付(6F)
9:30 ~ 11:30	グループ討議(討議)	霧島(6F)
11:30 ~ 11:45	グループ討議(討議結果とりまとめ)	飛鳥・鳳凰/東 鳳凰/西(4F)
11:45 ~ 13:00	昼休み・休憩(75分)	
13:00 ~ 14:00	講義「いきいき運転講座」	霧島(6F)
	池田 佳代(株式会社コンセプト)	
14:00 ~ 14:10	休憩(10分)	
14:10 ~ 15:10	講義「プロドライバーから見た交通安全」	霧島(6F)
	篠塚 建次郎(ラリードライバー)	
15:10 ~ 15:20	休憩(10分)	
15:20 ~ 16:00	講義「交通安全教育デモンストレーション」	霧島(6F)
	(警視庁交通総務課安全教育係)	
16:00 ~ 16:15	休憩(15分)	
16:15 ~ 17:00	グループ討議結果発表・質疑応答	霧島(6F)

[3日目:12月14日(水)]

時間	プログラム	会場
9:00 ~ 9:30	受付・連絡等	受付(6F)
9:30 ~ 10:20	事例発表(3組 + 質疑応答)	霧島(6F)
10:20 ~ 10:30	休憩(10分)	
10:30 ~ 11:30	講義「子どもの交通行動を理解するための心理学」	霧島(6F)
	山口 直範(大阪国際大学人間科学部人間健康科学科 准教授)	
11:30 ~ 11:45	休憩(15分) 閉講式準備	
11:45 ~ 11:55	閉講式・主催者挨拶	霧島(6F)
	和田 昭夫(内閣府 大臣官房審議官)	
	修了証配布・アンケート回収後、解散	

3. 講義概要

12月12日(月)13:30～13:45

開講式・主催者挨拶

金子 健 (内閣府 交通安全対策担当参事官)



- ・5ヶ年計画により交通弱者の安全対策・安全確保及び人優先の交通安全思想に基づく交通安全対策に取り組み、交通事故年間死者数は2,500人以下を目標とし取り組む。
- ・昨年までの交通事故発生件数・死者数・負傷者については対前年比において減少している。12月11日現在の速報値でも、交通事故の死者数は対昨年比225人減少している。
- ・日本全体の高齢化が進む中で実に死者数の半数以上が高齢者であり、また、登下校中の児童の事故、飲酒運転による交通事故などにより交通事故情勢は厳しい状況にある。
- ・交通安全教育は生涯教育であるとも言われており、幼児から高齢者に至るまでの年齢層に応じ様々なかたちでの交通安全教育が必要であることから、強い問題意識を持って講座に挑んでいただきたい。

開講式・挨拶全文

ただいま紹介いただきました内閣府の交通安全担当の参事官の金子でございます。
平成28年度交通安全指導者養成講座の開講にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

受講者の皆様には日頃より交通安全対策について深いご理解とご尽力を賜り、熱く御礼を申し上げます。また、師走の忙しい中、遠方からご参加いただきまして誠にありがとうございます。

さて、政府においては、本年3月に第10次の交通安全基本計画を決定したところでございます。平成32年までの5ヶ年の計画で、交通事故の年間の死者数を2,500人以下とすることを目標にしており、内容としては政府をあげて、子供、ご高齢者、歩行者といった交通弱者と言われる方々の安全対策、安全確保を初めとする人優先の交通安全思想に基づく交通安全対策に取り組んでまいります。

本年の交通事故の状況については、発生件数、死者数、負傷者数ともに対前年で言えばマイナスで推移しており、昨日現在の速報では交通事故の死者数は昨年から 225 人の減少になっております。

かつての交通戦争といわれた時代から見れば、非常に交通事故の死者数は減っておりますが、その減少の幅は徐々に減り方が緩やかになっているという状況です。

日本全体の高齢化が進む中で実に死者数の半数以上が高齢者ということになっており、高齢者の事故のほか、登下校中のお子様の事故、飲酒運転による交通事故が後を絶たないという状況でもあり、まだまだ交通事故は厳しい情勢であります。

さらに、高齢運転者による交通事故が続いており、高齢運転手による交通事故の防止の必要性を広く認識されるようになっております。

閣僚会議により、社会全体で高齢者の生活を支える体制の整備、これからの対策について広く専門家から意見を聞きながら検討していくという点について、総理よりご指示を受けました。

これを受け、政府の交通対策本部の下に局長級にてワーキングチームを設置し、指針について現在検討しているというところです。

交通事故の防止と言うのは今もなお国を挙げて取り組むべき重要な課題であり、悲惨な交通事故を減らしていくために官民一体となった取り組みを一層していかなければなりません。

日々献身的な街頭活動、そして地道な啓発活動に携わっておられる皆様の果たす役割というのは非常に大きく、内閣府といたしましても大いに期待を申し上げているところでございます。

皆様の日々のご尽力につきまして重ねて御礼を申し上げます。

本講座は交通安全意識の啓発、そして事故の防止のための街頭活動、交通安全教育に従事されている方、またこの分野において指導者になられる方を対象に内閣府の事業として毎年度実施しているものでございます。

本年度は、現在の交通情勢に対応した子供や高齢者に対する交通安全教育の指導方法を中心に、講義や各地域の方々の事例発表、テーマ別討議などを通じて基礎的な理論や実践的な手法に関する知識・技能を身に付けてくプログラムを組んでおります。

高齢運転者への運転教育についても講座を用意しております。また、今回はパリダカールラリーで有名なラリードライバーでいらっしゃる篠塚建次郎さんによる講座も設けております。是非世界的なプロドライバーの経験を踏まえた交通安全の心構えについても学んでいただければと思います。

交通安全教育は生涯教育であるとも言われており、幼児から高齢者に至るまでの年齢層に応じ、様々なかたちでの交通安全教育が必要であることから、本養成講座は大

きな意義があると考えております。どうか強い問題意識を持って講座に挑んでいただきたいと思います。また、併せて同じ志を持って参加されている人同士の横の繋がりも広げていただけたら幸いです。

最後になりますが、皆様方がこの3日間の講座で所期の成果を上げられ、有意義なものとなりますことを祈願いたしまして私の挨拶といたします。

講義「交通安全指導における効果的な話し方」
藤原 徳子(株式会社ビジネスファーム)



配布資料:

「交通安全指導における効果的な話し方」講義資料

本講義の目標:

効果的な話し方のスキル、知識、技能の習得

【交通安全指導者の使命】

1.交通安全指導者は「規範を守る道徳的な人間としてのお手本」

- (1) 話したことを有言実行することが指導者としての基本的なこと
- (2) 伝え方の知識、技術、技能を身につける
 - 交通安全指導の「目的」は何か？
 - ・尊い命を守り、安心、安全な街づくり。
 - ・道路交通法を守ってもらう。
 - ・事故の無い社会、加害者・被害者にならないための啓発活動。
 - 交通安全指導の「目標」は何ですか？
 - ・ルール、マナーを守る態度を育成する。
 - ・知識、技術、技能を身につける。

2.地域住民の自己肯定感を高める

- (1) 自己肯定感の低い人が多い
- (2) 交通安全のこと以外でも良いところを見つけ、頭ごなしに否定することを避ける

【指導者に求められる基本的事項】

1.心構え

- (1) 聴いてもらうという姿勢が大切
- (2) 話し方の3原則(明朗、正確、肯定表現)を守る
- (3) 目的と目標を達成するために、熱意を持ち、自信ある態度で指導にあたる
- (4) 交通安全指導者の指導者の「タスク」を理解する
 - ・自分のタスクを明確にすることで教育技法と指導技術の選択・決定ができる。

【指導者に求められる実践スキル】

* 交通安全指導現場での心得・・・テクニックを学ぶ前に必要なこと。

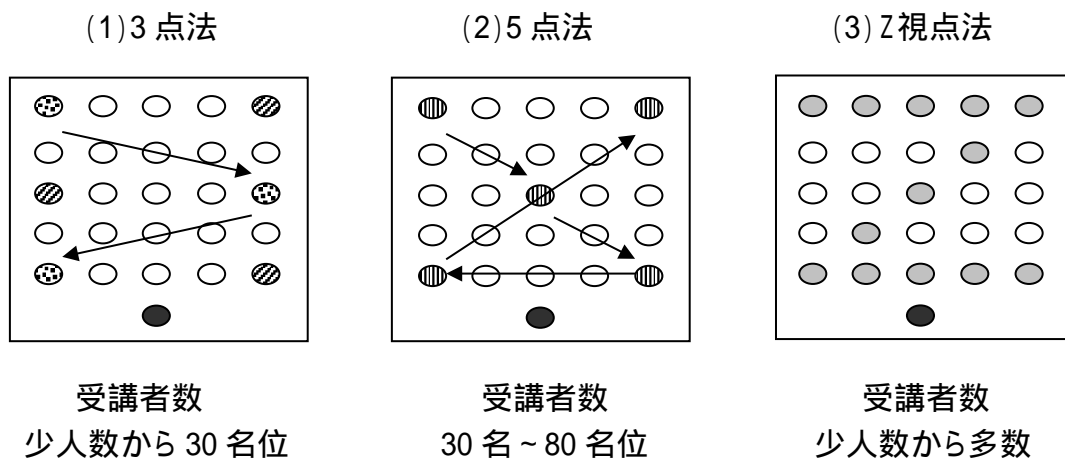
1. 幼児・学童に対する心得

- (1) 幼児語を使わず、丁寧な言葉で接する
・分別のある賢い子どもに育てるため。
- (2) 質問話法を活用する
・「...は、あるかな？(ありますか?)」と、身近な出来事を引用して問いかける。

2. 学生・高齢者に対する心得

- (1) 「命令形」より「依頼形」
・特に、高齢者に対しては、「～して下さい」ではなく、「～していただけますか」という言い方にする。
- (2) 相手の言葉を正す必要はない
・相手の話を復唱する時は、相手が使った言葉で繰り返す。
- (3) 親しみの勘違いをしない
・相互関係の一線を越えないためにも、丁寧な言葉で対話する。
- (4) 人は、ものの言い方に影響される
・話し方に『情』を込めるためにも、音調表現に注意する。

3. 基本動作としての視点法



4. 自分の印象を管理する

好意の統計(アルバート・メラビアン)

Total liking (100%)	=	Facial linking (55%)	+	Vocal liking (38%)	+	Verbal liking (7%)
		・笑顔や表情 ・身嗜み ・所作 等		・声の調子 ・話し方 等		・言葉 ・話の内容 等

5.口の体操

* 講習会の前には口の体操をしておくが良い

(1) 濁音と鼻濁音

- ・か行だけ鼻濁音がある。
- ・一音目に来的时候は濁音、二音目以降は鼻濁音になる。

6.相手を尊重する基本動作

- (1) 語先後礼(言葉が先、後から動作)

7.きく力・・・“聴く・訊く・聞く”

- (1) 傾聴術...相手の真意を 引き出すために話させる技術
- (2) 傾聴技法...やり 方
- (3) 開かれた質問や選択質問と再陳述を組み合わせ、相手の話を聞きだす

8.話す力“メッセージの伝え方”

- (1) 最も言いたいこと(主題)を先に述べる
- (2) 共通言語を用いる
- (3) 筋道を立てて話す
- (4) 短文で話す

【交通安全指導等の事前準備】

1.話材の集め方

- (1) 話材を集める
- (2) 自分の体験が、一番説得力がある

2.情報のアンテナを立てる(問題意識を持つ)

- (1) 一貫性を持つことで信頼を得ることができる

3.どのような話を聴きたいのか

- (1) 知らなかったことを知るような知識欲を満たす話をすると良い

4.例話の活用

- (1) 使命が「正しい交通安全のルール」にあれば例話は作ってもかまわない
- (2) 先人からの言い伝えられてきた話も良い

5.講義の組み立て方

- (1) 「なぜ、大切なのか」 「なぜ、そうなるのか」 「では、どうするのか」の組立
で講義をすると良い
- (2) 問いかける際は肯定の質問をすると効果的

6.コメントの仕方

- (1) サンドイッチ法で批評
 - (2) 良い点を褒める 直す点・問題点を注意する 励ましの言葉を贈る
- * 留意点
- ・音調表現を用いて工夫をする。
 - ・受講者全員に平等にメッセージを送る。

【交通安全指導等の実践】

岡山県の標語より

ま...待つ

み...見る

む...無理をしない

め...目立つ

も...もっと知る

1.講和の準備

- (1) 交通安全講習、イベント等(状況、場面)での「ゴール(目的)」を明確にする
- (2) 参加者に何を伝えたいのか? 講話の「テーマ(目標)」を設定する
- (3) 設定したテーマで「最も言いたいこと(主題)」を 30 文字以内でまとめ、話の展開を考える
- (4) 主題を裏づける内容として、「何を伝えたい(話題)」のかをまとめる

2.思考整理術をマスターする

* ロジックツリーを用いたスピーチトレーニング

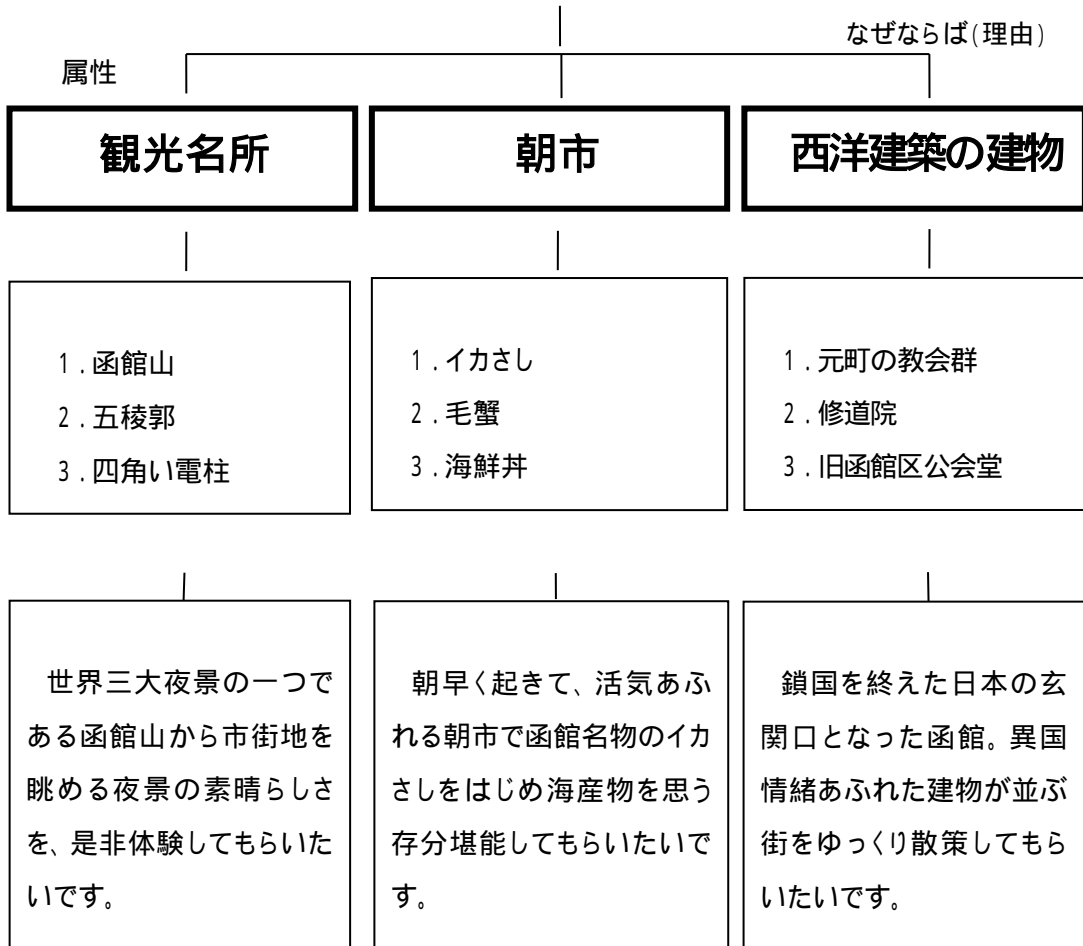
【ポイント】

- (1) 文字量を揃える ... 簡潔明瞭な文章
- (2) 文体表現を整える
- (3) 異質な情報を混在させない ... 視点のズレ防止

例

テーマ：
私がお薦めする観光地

結論：
函 館



【質問】

視点についての質問です。10名程度で教室を行う際に円形になっていますが、その時の視点法はどのようにしたらよろしいでしょうか？もしくは形態を変えたほうがよいのでしょうか？

【回答】

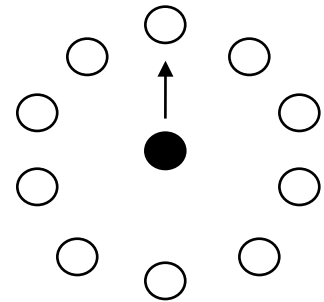
ご質問に回答させていただきます。

そもそも「円形」になって指導なさる時の目的があると思いますので、形態に関しては、私から何も申し上げることはございません。指導者が、指導しやすい形態を取られるのが一番です。

さて、円形になった場合の視点法ですが、指導者の立ち位置で変わり、2種類あります。以下を参考にしていただけると有り難いです。

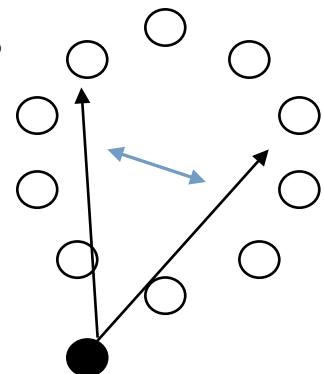
1. 指導者が円内に立つ場合 ...受講者 ...指導者

- (1) 受講者一人ひとりと正対する(向き合う)
- (2) 視点は、「傾聴術」の「相手の目を見る」を参照
- (3) 指導者が、体の向きを変えて、受講者一人ひとりと向き合って、お話をする
指導者が、円内で回転していくイメージ



2. 指導者が円外に立つ場合 ...受講者 ...指導者

- (1) 指導者が、3~4人程度の受講者を「弧を描く」ように見る
- (2) 講話の区切りで、指導者が体をずらし、(1)同様の所作をとる
指導者が、円外で回転していくイメージ
- (3) 受講者の真後ろに立たない
- (4) 受講者と受講者の間から、円内を見る



【感想】

- ・大変勉強になりました。できるところから少しずつやっていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・わかりやすいお話ですぐに私にもできそうだと思います。「大丈夫」の使い方、気をつけたいと思います。
- ・自分の意識改革が出来そうです。今回の講座を受けることが出来て本当に良かったです。またどこかで講義を受けられる日を楽しみにがんばりたいと思います。ありがとうございました。
- ・主題(自分が最も言いたいこと)を明確にする。地域・学校・指導・コミュニケーションが出来ていない。見かける先生方はひどい。これでは生徒達が社会人になっても、挨拶も出来ないと思います。部下・後輩・高齢者の指導のいろはを学びたい。今後啓発活動に対して引用させていただきたい。
- ・効果的な話し方参考になりました。帰ったら指導員の方に報告いたします。
- ・先生のお話をまたお聞きしたくて講習を申し込ませていただきました。ここ何年か小学校の「あいさつ」が変わりました。床に「ありがとう」と言うのではなくしっかり相手と見てくれます。校長先生が藤原先生の講義をお聞きになったのかと思いました。ありがとうございました。
- ・幼児を相手にする時は「おてて」とか「おうち」という言い方をしていました。ところが幼稚園のすぐ後、高齢者の教室でつい「おてて」「おうち」という言葉を発してしまい言葉の使い分けが出来ず失敗の連続でした。でも先生の講演で幼児語を使わない方が良いと聞き、今後は言葉を使い分けず、幼児に対しても高齢者に対しても同じように話そうと思います。
- ・一昨年、別の研修で先生の講義を聞かせていただきました。その後実践しているつもりでしたが、まだ身についていない部分を自覚することが出来ました。先生の話し方そのものもとても参考になりました。
- ・とてもわかりやすく、話し方を論理に基づきとても勉強になりました。
- ・ありがとうございました。先生には27年11月13日研修会でお会いしておりました。今回は時間も長く、先生のテンポのよいお話は聴いていて飽きません。例文も楽しいです。またお会いしたいです。役立てていければ幸いです。頑張ります。
- ・とてもわかりやすく、とても勉強になりました。ありがとうございました。全てが参考にな

りましたが特に 1-1-(3)話し方の 3 原則 2-2 基本動作としての視点法 2-7 話す力”メッセージの伝え方”です。

- ・”ことば”の部分、先生はすばらしいのですが、その辺を説明してほしいと思いました。多くの方が”エ～ト”、”ア～”など知らない言葉が入りますが先生はまったく入らないで聞きやすい。そのこともお話いただきたい…。
- ・先生のお話は大変有意義なものでした。ぼんやり理解していたことを再認識させられました。ただ、「交通安全における効果的な話し方」にも通じますが日常生活全般に通じるものだと思います。講習においては半分位の時間は交通安全の具体的な話し(私達が実際やるような)を例としてやっていただいてもと思いました。
- ・今後の話し方(人前での)に活かして行きます。
- ・とても参考になり、眠気も飛んで行く程集中し聞き入りました。この様なかたちでものことに取り組みたいと感じました。
- ・いつも楽しいお話をありがとうございます。先生の話の進め方や間の取り方などとても勉強になります。聞く手が興味を持っている話し方を学びたいです。ありがとうございます。
- ・話し方や立ち振舞いなど、とても勉強になりました。幼児に幼児語を使わないなど新しい知識を得ることが出来ました。

講義「紙芝居の演じ方」
おの いづみ(イラストレーター)

配布資料：「紙芝居の演じ方」講義資料



紙芝居は1対多数に対して演じ、集団で感動を分かち合うことが出来るため交通安全教室に適している手法である。

紙芝居を演じる前に必ず繰り返し下読みをして、登場人物の気持ちや個性等をつかむことが大切。

紙芝居は一人でいくつものキャラクターを演じるため、キャラクターを区別できるように以下の表現方法を学んでいく。

【発声の基本】

・お腹から声を出す方法

背筋を伸ばし、お腹に空気を入れて、お腹から声を出す。また、滑舌を良くするために、「あ・え・い・う・え・お・あ・お」「か・け・き・く・け・こ・か・こ」...、という発声練習をする。口の開け方、形を意識して行う。

【間の取り方】

- ・物語のポイント、場面が変わるところでは、一呼吸おいて間を取って読んでいく。
- ・喜怒哀楽が変化するところで間を取る。

【喜怒哀楽の表現の仕方】

喜 = 明るく、楽しく笑う

怒 = 低めの声で口をとがらす

哀 = 悲しみの表現、表情は抑えめにし、口は広げて開けない、泣く、泣きじゃくる、すすり泣く

楽 = 明るい声でやや早口に

【演じ方の基本「声」について】

- ・セリフによって登場人物の年齢、性別、性格、生活環境が分かるようになってくる。
- ・声色(声帯模写、物まね)は使わず、音階(ドレミファソラシド)、口の開け方、高低、緩急、強弱、明暗で、登場人物の声を使い分ける。
- ・喜怒哀楽に、「明暗高低」を付け加えると、8種類の声のバリエーションを作ることができる。

- ・主役は演者ではなく、あくまで紙芝居の中の主人公であることを忘れない。
- ・ナレーションも、場面に合った語りができるように。
- ・擬音を表現する際に太鼓などを使用すると、子供達の注意が道具に向かってしまうことがあるので、できるだけ、道具に頼らずに擬音は口で表現した方が良い。

【演じ方の基本「間」について】

- ・息つぎの間
場面の状況が変わるところで、息つぎをする。
- ・話変わりましたの間
場面転換や状況が変わる時に取る間。例えば、夜から朝への場面転換時に、3～4秒ほどの間を取る。
- ・ドラマを生かす間の取り方
観客に期待を持たせる「間」、考えさせる「間」、登場人物の気持ちになった「間」などがあるが、これらの場合の間は、何秒空けなければならない、という決まりはないので、下読みの際に自分で考えて間を取る。

【演じ方の基本「ぬく」について】

- ・紙芝居は真っすぐ平らに抜く
- ・途中まで抜いて止める
限られた枚数の中で物語の幅が広がる。
- ・サッと抜く、早く抜く
緊張感がある場面や急いでいる場面で使用する。
- ・ゆっくり抜く、静かに抜く、抜きながら話す
余韻を残し考えてもらう時間ができる。
- ・画面を動かす
場面によって上下前後に紙芝居を揺らすと風に吹かれている様子や歩いている場面など臨場感を表現できる。

【発生の練習】

- ・男性が女性の声を、女性が男性の声を練習。
- ・ドレミファソラシドの音階で練習をする。

【紙芝居を実演】

- ・紙芝居の大筋を変えない限り、自分の演じやすいように言葉の言い回しを変えてもよい。

【紙芝居を演じる際の要点】

1. 紙芝居を演じる前に、必ず下読みと練習をすること。
2. その紙芝居の状況と出てくるキャラクターを自分の中で理解する。
3. ナレーション、セリフでは声の高低、緩急、明暗、強弱を使い分ける。

4. ドレミの音階を使用することで低音は男性、中音は女性、高音は子供と、声色にこだわることなく演じる。
5. 喜怒哀楽を表せるように、練習する。
6. 技術ではなく、繰り返し練習して演じることで、自分なりの紙芝居ができる。自分自身が感動して楽しんで演じることで、子供達に感動や共感を与えられるようにする。

===== 質問・回答・感想 =====

【質問】

紙芝居の入手方法は？

交通安全の幼児現場ですぐに生かせるおすすめリストを教えてください。

【回答】

入手方法ですが、各県、市、町等 役所の交通部に借りて配布した交通安全紙芝居が有るかもしれないので、問い合わせてみて下さい。また、これから内閣府の交通部の方とどの様な形で皆さんに供給出来るか、打合わせをすることになっていますので、少しお待ち下さい。

購入するのであれば、インターネットで「交通安全紙芝居」で検索してみてください。

すぐに生かせるリストの件ですが、私が個人的に思うのは、事故に合いそうになるインパクトが強いもので「気をつけよう」と感じさせるストーリー（物語）の紙芝居です。

「ぴょんぴょんピョン太」、「ドライブ ドライブ」

【質問】

先生が作られた昔の紙芝居のカタカナが入っている文の意味？使い分け？がよくわからないのですが・・・ 鬼の子太郎、カッパの三兄弟、雨のはなし(題名忘れました。)

【回答】

ひらがなとカタカナの使い分けですが、特に文法的に とか 文章的に とか考えて使い分けただ訳ではなく、ひらがなは柔らかいイメージ、カタカナはインパクトをつけたい時に、そのストーリーやタイトルを書く時に使っていました。

(例)車にぶつかった時 どっかーん!! よりも ドッカーン!! とか

タイトルでは「もりのようせい ピムとペム」の場合、二人が主役なのでカタカナにしました。

「ぴょんぴょんピョン太」もそうです。

【質問】

今回見せていただいた紙芝居は何人位まで有効でしょうか。どこまで見えているのか、どのくらいまで可能なのか知りたいです。

【回答】

今回の紙芝居は 100 人位迄大丈夫だと思います。

その際、舞台と前列の人との間合いを少し広めにとった方が、より見えると思います。

今回は会場の大きさが決まっていたため、最前列、左右の皆様には見え難くて申し訳なかったと反省しています。出来れば紙芝居を正面に集まる様座っていただければ有効かと思います。

紙芝居を演じる前に、子供達の位置 左、右、後部から確認してから始めることをおすすめします。

【感想】

- ・紙芝居の演じ方で指導員をしてはまだしたことはありませんが、孫たちによく演じていますが、上手にできません。先生の講義で教わったことを実践してみます。子ども達の反応が楽しみです。孫たちに好評を得られたら小学校で始めたとわくわくしてきました。
- ・紙芝居を学び、演じる前に繰り返し読むことで身に覚えることが必要と感じました。棒読みではなく、登場人物の気持ちをつかむことにより、見ている人にインパクトを与えることの大切さを学んだ。もっと機会があればいろんな話問いかけを教えてください。
- ・紙芝居の演じ方。わかりやすい指導ありがとうございました。参考にします。
- ・実際に私の所では紙芝居をやったことがなく取り入れるか検討したいと思います。1人で何役もの声を出すドレミファソラシドの手法や口の動かし方などとても勉強になりました。また、先生の演じた紙芝居を見てとても感動しました。同じ人が声を出しているとは思えない程、全く声が違っていてすばしかったです。
- ・声の高低だけで異なった人物を表現できるということを知り実践してみようと思いました。楽しい時間でした。
- ・『ドレミファソラシド』の音階『高低』『緩急』『強弱』『明暗』の使い分けで 8~10 名を演じることに感動致しました。園児向けにと自分でもやってみたいと思いました。間、が大切ですと再認識。
- ・声の変え方でこんなにもちがうことに発見。子供と大人との声のトーンなど。
- ・演じ方、今迄自分流で誰に紙芝居を教えていただいた訳でもなく演じていましたが良い話を聞いて是非実演してみます。子供たちの反応が楽しみです。
- ・実際に紙芝居を見せていただき迫力を感じました。”コツ”を教えていただいたので自分なりに出来るようにしていきたい。

グループ討議:Aグループ

討議内容:幼児・児童の交通安全

司会進行:柴田 彩子(愛知県)

書記:香川 啓介(東京都)

発表者:柴田 彩子(東京都)



【論点】

- Ⅰ 児童生徒にどのような教材、手法が効果的か
- Ⅰ 室内での効果的な訓練指導の方法(体育館や狭い場所等)
- Ⅰ 幼児、児童に対する安全な通学路の確保と交通安全について

【現状の課題・問題点と対応状況】

- (1) 幼児、児童の集中がきかない、飽きてくることがある。
- (2) 雨で日程変更できない等で体育館や狭い場所で指導を行う場合、自転車の持ち込みが出来ないことがある
- (3) 街頭で小学生の通学を見守っているが、言うことを聞かず中々思いが伝わらない

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- (1) 様々な教材を取り入れる。体験させるものや紙芝居、DVD 等
 - ・同じものを使うと飽きてしまうので、年度によって教材を変える工夫を行う。
 - ・壁を使って死角実験の体験してもらう、ヘルメット実験を行う等で興味を引く。
- (2) 体育館等狭い場所で実際に自転車を持ち込めない場所等ではエア自転車でハンドルに見立てたものを使って指導
- (3) 市役所や警察との連携。パトカーやグリーンベルト等の設置も効果的ではないか
 - ・直ぐに出来る対策としては、音は効果的なので笛のついた棒を使っての立哨活動や、集団登校の際の並び方を高学年 小さい子ども 一番後ろにまた大きな子どもをつける等、並び方の工夫を行う等。
 - ・交通安全教育で大切なのは役割分担をしっかりすること。地域、小学校、家庭等自分達だけではなく地域で連携をしていくこと。

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

- ・あいさつが返ってこない。
- ・地域性もあるのでは。
- ・親や先生があまり交通指導をしていない。

グループ討議：Bグループ

討議内容：幼児・児童の交通安全

司会進行：秋保 初音(福島県)

書記：松尾 菜摘(長崎県)

発表者：小谷野 健史(埼玉県)



【論点】

- Ⅰ 子ども達が道路横断の際に手をあげて渡る工夫
- Ⅰ 就学前の指導
- Ⅰ 子ども達の歩行指導について

【現状の課題・問題点と対応状況】

- (1) 手をあげることについて、市町村や都道府県によって違いがある
 - ・先にあげるか、確認してからあげる等も違う。手をあげないのは確認の妨げになる。あげることをあまり強調しないのは視界の妨げになる、手をあげることであまり確認しないで行ってしまい危ない等があった。
- (2) 就学前の指導は信号機や横断歩道がある交通広場で、指導しながら子ども達と実際に歩いている
- (3) 子どもが広がって歩いていることがある

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- (1) 手をあげることについてはどれが正しいということではなく、その場にあった一番良い方法をもう一度考えてみる
 - ・渡り終えた後に感謝の気持ちを表すのは有益ではないか。(止まってくれた車にお礼をする)
- (2) 実際に歩いて指導するのが良いだろうけれど、地域によって難しいところもあるが、一番は自分で自分を守ることを考えさせる
 - ・紙芝居や歌を使って指導する。
 - ・様々な教材を取り入れる。体験させるものや紙芝居、DVD等。
- (3) 広がって歩くことについては、子どもだけの指導ではなく、保護者の協力、先生方の協力が必要不可欠となる。子どもたちの安を日々守っていくために、交通安全研究会を保護者と開く等、周りの協力を得ながら進めていく

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

- ・園庭に道路を描き指導をしている。
- ・一時停止の標識は歩く人も止まらないといけない指導。
- ・音を聞くことも指導に入っている。
- ・入学前に保護者に通学路を歩行してもらえるようお願いしている。
- ・渡りながらも右・左を見る指導。(小学生)

グループ討議：Cグループ

討議内容：高齢者の交通安全

司会進行：広瀬 元彦(兵庫県)

書記：間澤 真知子(札幌市)

発表者：野口 和美(千葉県)



【論点】

- I 高齢者の交通安全・交通事故防止について
 - (1) 高齢者の交通安全教室に参加しない高齢者について
 - (2) 自転車、歩行者、高齢ドライバーの効果的な移動方法
 - (3) 高齢者に対する交通安全教育の手法等(教材について)

【現状の課題・問題点と対応状況】

- (1) 声かけをしているが毎回参加者が一緒
- (2) 自分の体力の低下を自覚していない
 - ・自転車のルールを分かっていない。
- (3) 高齢者は注意しても聞いてはくれない

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- (1) 街頭啓発はまずあいさつからコミュニケーションを図りお話を聞いてもらいえるように努力する
 - ・広報やチラシを利用したり、民生委員の方に協力してもらう。
 - ・興味をもってもらえるように、腹話術や手品等を取り入れる、お弁当などを用意する等。
- (2) 自転車は車の仲間であることを認識してもらう
 - ・身体能力が衰えているということについて、教材を使って実際に体験して自覚してもらう。
 - ・高齢者の自転車教室を開いて自転車利用安全5則を知ってもらう。
- (3) 高齢者が集う他のイベントに便乗して啓発する
 - ・参加型で飽きないような講習。
 - ・楽しんでくれる教材づくり。(川柳・腹話術・手遊び等)

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

- ・高齢者になってからではなく前からの声かけが必要。
- ・9.19.29日、9のつく日には、反射材を配ったりしている。
- ・年金支給に合わせて啓発する。(靴に反射材シールをつける)
- ・広報誌に写真付きで掲載し、誰が見てもわかりやすい内容にする。

グループ討議：Dグループ

討議内容：自転車の交通安全
司会進行：中 康信(和歌山県)
書記：根本 未知華(茨城県)
発表者：徳永 美保子(大分県)



【論点】

- 1 効果的な交通指導、広報の仕方について

【現状の課題・問題点と対応】

- (1) 小学生の自転車指導で左側走行中、右後ろの安全確認の徹底をさせるには
- (2) 指導の話の組み立て方
- (3) 保険の広報の仕方
- (4) 就学児以外、高齢者の方にも自転車指導はあるのか
- (5) 未就学児と保護者への広報活動はどのように行っているか

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- (1) 自動車学校でコースと車を借りると現実感を出せて良い。まずは止まるということ覚えてもらう
- (2) 教材を取り入れて、お話して、実技、まとめという流れ
- (3) 指導先、ほぼ全てで保険の大切さ、ヘルメットの大切さ、命の大切さの話を交えてお話する
- (4) 高齢者にもコースを走ってもらうことも行い、本人がよろけたりすることの自覚をもってもらおう
- (5) 降園時に行って5～10分指導する。急に行くと制服を着ているということで意識して安全に注意をする

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

- ・リヤカーや自転車も車だということを自覚させることが大切。
- ・13歳以下にも損害賠償支払い命令はされること、責任は持たされることを伝えておくべき。
- ・何よりも命が大切だということを伝えることが第一。
- ・事例等をあげて伝えると、自分の身になって考えるようになる。
- ・事実を伝え、交通安全を日常化させる。
- ・人数に応じて、指導員数を調整する。
- ・人数が多いときは、グループに分け、入れ替えて指導をする。

グループ討議：Eグループ

討議内容：自転車の交通安全
司会進行：木部 瑞香(静岡県)
書記：須藤 浩孝(大分県)
発表者：川井 真紀(愛知県)



【論点】

- 1 自転車の正しい乗り方に関する交通安全の内容

【現状の課題・問題点と対応状況】

- ・自転車の講習を小学生3年生や4年生に行うところが多い。
- ・中学生にも交通安全教室を行っているところもある。
- ・高齢者の教室はなかなか要望がない。
- ・小学生のうちに、しっかりルールを教える必要があるのではないか。

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- ・共働きが多い中、いかに保護者を巻き込んだ講習ができるか。
- ・入学説明会など、保護者が集まるときに講習を実施する。
- ・参観の時やお迎え、小学校入学説明会、入学式の時にチラシ、リフレクターの配布や交通事故状況の説明。

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

- ・保育園・幼稚園等からの依頼に対しては、保護者の参加10名以上を必須にしている。

グループ討議:Fグループ

討議内容:反射材等の効果的な使用方法

司会進行:田中 保彦(福井県)

書記:村松 有加(千葉県)

発表者:野々内 さとみ(島根県)



【論点】

- 1 みんなに喜んで使ってもらえる反射材

【現状の課題・問題点と対応状況】

- ・啓発活動で配布しているが、実際に使ってもらえているか分からない。
- ・警察とタイアップして老人クラブに行き、靴の後ろに反射材を貼ったりしている。
- ・反射材の襷、タックルバンドをイベント等で配布。
- ・その場で強制的に反射材をつけさせてもらう。
- ・訪問指導などで配布。
- ・キャラクター等のかわいい反射材を作り、配布。
- ・オリジナルの反射材(シュシュを作る)などで興味を持ってもらう。
- ・反射材がどの様に光るのか実際に見てもらう。

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- ・魅力ある反射材をつくる。
- ・ピコピコ光る靴(高齢者用)やキャラクターなどかわいい反射材を作る。
- ・反射材を光があたらなくても光る様になると良い。
- ・商品化されていますが、反射材スプレー(2000～3000円)。
- ・自分達の所だけではなく、企業やメーカーとのコラボ商品。
- ・黒い反射材などファッション性の高い反射材を作る。
- ・身に付けたいと思う反射材。(絶対身に付ける物が反射材になると良い)
- ・足元(靴)だったら、履かない人はいないので靴に普及に繋がる。

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

- ・啓発活動で反射材の有効的な紹介をする。
- ・キットなどで身に付ける反射材のものを自分で作ると愛着が湧くのでは。
- ・反射材の効き目を見てもらう講習(体験)をしてもらう。
- ・反射材入りの糸で編んだシュシュなど、ファッションショーを行う。
- ・企業とのコラボでイベント等を行う。
- ・条例化も考えて欲しい。
- ・今日の話合いを市の市民課などに報告して協力してもらえるようにして欲しい。

グループ討議:G グループ

討議内容:シートベルトの正しい着用

司会進行:中野 勝臣(大分県)

書記:山崎 千佳子(福島県)

発表者:寺嶋 康廣(和歌山県)



【論点】

- I シートベルトを着用の普及について
 - (1) 幼児のチャイルドシートの着用率向上について
 - (2) シートベルト着用率向上に向けての啓発活動
 - (3) 後部座席のシートベルト着用意識

【現状の課題・問題点と対応状況】

- (1) 幼児の意識とあわせて、保護者の意識も重要である
 - ・交通安全教室等で実演したり、人形を使用したり、歌を利用するなどして実演。繰り返し指導を重ね意識の向上に努めている。
 - 「シートベルトを忘れない歌」(高崎市)や行政サービス“チャイルドシートレンタル利用”の補助をしている市もある。
- (2) 意識改革の一つとして、啓発ポスター及びチラシの配布でチャイルドシート着用率アップ(宮崎市)H26年47%からH27年67.8%にアップ
- (3) まだ後部座席シートベルト着用率が低い、法律では着用義務が定められている
 - ・事故の際は運転手に責任が発生するのも認知していない人が多い。

【今後に向けての課題・問題点と対応策】

- ・チャイルドシートの着用の重要性は、幼児の意識もさることながら、保護者の意識が重要。参観日で保護者に向けて資料(映像、データ、事例等)を提示しながら意識を高めてもらう。
- ・幼児には、教材や歌等を活用するのも効果的である。
- ・幼児、児童の身長に合わせたシートの活用が大事。
- ・レンタルサービスの普及と広報を活用していく。

【メンバーからの意見等(自由記述欄)】

- ・母親の意識づけも大切だが、幼児が聞かない。
- ・DVDを流すと良いと聞いたことがある。
- ・幼稚園に行き、園児に話したりすること。重要なことは事例をあげながら、子供たちの意識を変えていく。
- ・後部座席のシートベルトについては、免許のない人が後部座席に乗る場合は感謝の気持ちをこめて着用する、ということを伝えている。

講義「いきいき運転講座」
池田 佳代(株式会社コンセプト)



配布資料:

- 「いきいき運転講座」講義資料
- ・DVD「いきいき運転講座」マニュアル
- ・すすめ方の手引き、指導者用冊子
- ・交通脳トレ
- ・交通安全トレーニング用ワークシート
- ・活動好事例
- ・いきいき運転講座の効果(記事)

【「いきいき運転講座」の考え方と特徴】

「いきいき運転講座」とは

- ・脳を元気にして交通安全力を高めることを目的としている。
- ・交通安全、心理学、脳科学の専門家より最新の情報を得ながら開発を行った。

受講者数は2008年8月より約23万人にのぼり、90%の受講者(主催者)から良かったという反応があった。

受講者からは「楽しく勉強できるから身に付く」「話し合ったことは忘れない」「楽しくて時間がたつのが速い」などの声があり、交通安全担当者の方からは「皆に考えさせ、発表させる教室は新鮮でよい」「話し合いを通して、高齢者の意識が変わってくる」「対話しながら問題点に気づかせるこれまでにない講座」という声があった。

「いきいき運転講座」の考え方

千葉大学名誉教授鈴木先生の研究によると、家にこもらず老人クラブで活動や趣味に興じたり、ボランティアを行う等されている方ほど安全意識が高く事故が少ないと言われている。

「いきいき運転講座」では上から教え込むのではなく気づきの学習を目指し、交通安全力アップを行っている。

「いきいき運転講座」の特徴

特徴1: 小グループ学習などを通してよい仲間づくりをし、活動的な暮らしをすすめることで安全に行動することができる。

特徴2: 話し合いを中心に進めている。問題を提起し、自分たちで解決することで行動を変化させる。

特徴3: 交通脳トレや話し合いで、脳機能を高めながら交通安全を学習できる。

特徴4：ドライバー、助手席、歩行者、自転車等の違った立場で話し合いをするため、免許を持っていない方でも参加ができる。

高齢ドライバー、自転車の事故時の違反

信号の無い交差点での安全不確認や、一時不停止の違反が多く、標識の意味は理解しているが実際に行動をチェックすると正しい行動がとれる人はわずか15%しかいなかった。

【「いきいき運転講座」体験】

1. 「いきいき運転講座」の流れ

- (1) 脳の機能を高める「交通脳トレ」 1日分、2問を実施(時間がないときは1問)。
- (2) 話し合いながら答えを出す「交通安全トレーニング(グループ学習)」ワークシートを活用し、ディスカッションを行う。質問は5つから8つくらいで、答える中で、解決策が見つかるように組み立てられている。グループごとに気づく内容が違うので、お互い発表しあうことで知識が広がる。

2. ワークシート 運転の自己評価

- (1) 四輪車に乗って、一時停止標識と停止線のある細い道から二車線道路に出る際に、きちんと止まって、安全確認をしているか100点満点で自己評価する。
- (2) どのようにすれば安全に通過できるかディスカッションを行う。
- (3) ビデオを見て、停止線で止まった車の数を数える。
- (4) ビデオを見てどんな感想を持ったかディスカッションを行う。
- (5) ビデオの解説編を見て、なぜドライバーは脇道から通りに入る際に一時停止をしないのかについてディスカッションを行う。
- (6) もう一度、運転の自己評価を行い、映像を見たり、ディスカッションを行った後の自己評価に変化があったかどうか確認する。

3. 進め方のポイント

- (1) 普段の運転を振り返り講座の前後に自己評価を行いディスカッションにより短時間に教育効果がはかられる。
- (2) いきなりビデオを見せなかったことがポイントになる。ビデオを見せる前に正しい行動を皆できちんと考えておくことで、街の行動がいかに酷いかが良く分かる。
- (3) 人の振りを見て、話しぶりを直す。
- (4) 違う意見の中から発見があるため学ぶことが出来る。

【「いきいき運転講座」の効果】

70歳以上のドライバー180人に効果測定を行ったところ、

- ・「交通脳トレ」に関しては脳の機能の上昇が認められた。
- ・「交通安全トレーニング（グループ学習）」に関しては、自分の問題点に気づき、解決していく反省力の向上に効果が認められた。

ディスカッションにより76%の受講者が気づきを促されたと回答した。また、80%の受講者が「いきいき運転講座」のような高齢者主体の講習会を普及すべきと回答した。

話し合いの効果として、自分の意見をいい、人の意見を聞く中で「気づき」や「発見」があり、皆で意見を出し合うことで指導者が教えたいと思う答えは必ず出て来る。足りない場合のみ指導者が意見を補う。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 質問・回答・感想 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【質問】

相手が止まるであろう「だろ運転」は、一瞬間待つことにより事故が防げる。そのことによる賠償責任、高齢ドライバーは自分の運転を実際より高く評価していることに対する指導の仕方を教えて欲しい。

【回答】

賠償責任を紹介することは、事故防止の動機付けの一つになると思います。ある老人クラブでは、今回研修でご紹介した信号機のない交差点で起きた高齢ドライバー事故の賠償金を調べて紹介し、反響があったと伺っています。

運転への自己過信につきましては、研修でご紹介させていただきましたが、高齢ドライバーご自身の運転への評価と現実の姿のズレを、教え込むのではなく気づいていただくことが大切と考えております。

- ・ビデオで他者の運転行動を見て、自分の運転を振り返ってもらう
- ・危険な行動を変えるための方法を話し合う
- ・講習の前後でご自分の運転を100点満点で採点し、点数の変化を見るといった方法を通して、危険な自分の姿に気づいていただけると考えております。

【感想】

- ・いきいき運転講座大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・いきいき運転講座、テキスト、DVD、付きで有り難いです。脳トレ集など現場で活用したいものが多々あり会場での販売などあっても良いと思いました。
- ・ただ交通ルールを教える、又は伝えるだけでは相手は聞き流してしまうこともあります。池田先生のお話の中で相手に考えさせる、意見を引き出させることの重要性を改めて感じました。自ら考えるということで、行動に移すと思います。大変勉強になりました。コミュニケーション力を高めることはいきいき度アップ、自ら考え行動を変化させることは交通安全アップにつながることを今後の教室で生かして生きたいです。
- ・職場に「いきいき運転講座」があるのは知っていましたが、こんなに便利で効果的なものだという事は今回初めて知りました。運転の講話をする機会はないのですが、歩行者や自転車にも応用できるということだったので、使用する場面を考えてみたいと思います。
- ・楽しかったです。また聞いてみたいです。
- ・教材 DVD ありがとうございました。教材を作成するまでのご苦労は大変なものでしたと。活かしていきたいです。コミュニケーション力をアップさせていきたいです！小グループからスタートしたいです。参考になりました。
- ・話が早くもう少しわかりやすく教えていただきたかったです。先生だけが分かっている様に見えました。
- ・地域の高齢者の方に進めて行きます。家に帰って実家の母にまずはやってもらいます。
- ・いきいき運転講座 再確認できてとても良かったです。

講義「プロドライバーから見た交通安全」
篠塚 建次郎(ラリードライバー)

配布資料:

「プロドライバーから見た交通安全」講義資料



現在も半分現役として 50 年近く世界中のレースに参加してきた経験と、レーシングドライバーから見た視点で交通安全についての講話をいただいた。

【高齢ドライバーについて】

- ・「見て」「判断して」「動作する」ことが車を「運転する」ということである。
歳を重ねるにつれ、視線の移動、焦点が合うスピードや判断をするスピード、判断をしてブレーキを踏む動作に移るまでのスピードが遅くなる。

【講師自身の体験】

- ・以前と違うこと。
 - (1) 「うっかり」が増えた
 - ・止まれの標識で止まる判断が遅れる等、「うっかり」が増えてきた。
 - (2) 夜の運転が見つづらい
 - ・夜の運転時に見づらいと思うことが多くなった。
歩行者、自転車に反射材が少しでも付いているとドライバーから見やすくなる。
 - (3) イライラが増えた
 - ・運転していてイライラすることが増えてきた。
運転をしていて、自分が思ったことと違う動きをされるとイライラする。
・イライラした際には深呼吸を行っている。

【ドライビングポジションについて】

- ・どういう姿勢で運転するかが重要視されていない。
- ・正確な操作を行うためには、シートポジションが重要である。
 - (1) シートの位置は右足でブレーキを踏み、膝が少しよりも、もう少し曲がる位置に合わせる。
 - (2) 背もたれの調整はハンドルの一番上を両手で握った場所に合わせる。
 - (3) ハンドルの高さ調整が出来る場合はメーターの中を覗いてメーターが見える位置に合わせる。
 - (4) ルームミラーの調整については、ルームミラー下部に自分の車体が少し映る位に

調整することで後続車との距離や速度がわかりやすくなる。

- (5) サイドミラーの調整については、左右は自分の車体が少し映るように、上下は地面と空の境目が中央になるように調整する。

【サイドミラーの死角を知る】

- ・ピラーにより死角が生まれる。

車線変更の際は特に注意をする。サイドミラーによる確認の後に方向指示器を出し、目視による確認を必ず行う。

【シートベルトの重要性】

- ・シートベルトの効果が出る着け方をしなければならない。

- (1) 斜めのベルトが首にかからないように

- ・斜めのベルトが首にかかると、もしもの時にベルトが首にかかることで効果が低くなってしまふ。ベルトが首にかかっている場合は、B ピラーの所についている高さ調整にて調整を行う。

- (2) 斜めのベルトを B ピラー部にクリップで止めるのは絶対にダメ！！

- (3) 後部座席のシートベルトも忘れずに

- ・後部座席のシートベルトは自分の家族を守るためにも大切である。

【交差点での安全確認】

- ・交差点では車だけでなく歩行者がいる。

子ども、大人、高齢者それぞれ動き方が違う点に注意が必要である。人が横断しようとしている際には停止すると決めてしまうことで判断と動きを単純化することができる。

【自転車の交差点横断】

- ・スポーツ仕様の自転車はスピードが出るので注意する。

最近では健康のため、通勤に自転車を使う人も多くなっている。自転車は軽車両なので基本的には車道を通行する。歩道を通行する際は車道側を通行する。

【狭い路地での安全確認】

- ・狭い路地での安全確認のポイント。

車の運転は見て判断して動作に移すことだが、狭い路地では耳からの情報も判断するうえで重要なポイントになる。

【篠塚流安全運転 5 原則】

1. シートベルト

一番はシートベルトの大切さである。確実に装着していただきたい。

2. 運転に集中する

走ることだけに集中しなければ失敗を起こす原因になる。

3. うっかりを防ぐ

年齢と共に「うっかり」が発生する。「うっかり」を防ぐために頭の中で呼称しながら確認をすることが有効である。

4. 何か操作をするときはまわりを見る

車を運転するという事は、ハンドル、アクセル、ブレーキを何れかを操作することである。なにか操作をした際は必ずまわりに影響が出る。必ずまわりを確認することを癖にすると良い。

5. 余裕をもって

余裕をもって運転する。

【プロとして】

・日本とアメリカは交通安全先進国

日本、アメリカは交通安全が進んでいる。

・フランス・イタリアなど、ヨーロッパは？

フランスのドライバーはスピードを出す。フランスのドライバーは車線を守らないので道路に車線が引かれていない。フランスでは右側が優先である。

・受講生の皆様へ

受講生の方々が指導していただいているおかげで安全に走れていると実感している。これからもよろしくお願ひ致します。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 質問 ・ 回答 ・ 感想 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【質問】

先生の安全運転五原則には、重みを感じましたが、今までの経験の中で確認を怠った時や、どうしてここまで走って来たのか(帰ってきたのか)ということはありませんでしたか？

【回答】

確認を怠ったことがなかったとは言えません。免許を取得して 50 年にもなります。やはり平常心でない時は「うっかり」がありました。通り過ぎてから気づくのがほとんどです。記憶に残っていて例にあげられるとしたら、一時停止を確認しながらブレーキを踏まず、交差点にさしかかる寸前に気づいて急ブレーキをかけたとか……。恥ずかしながら気づかなかったこともあったのではないかと思うのが正直なところです。

従って、どうしてここまで走って来たかと、と思ったことも何度もあります。疲労困憊している時や睡眠不足の時など、気がついたら到着地にいたことがあったと思います。特に走り慣れている道では気をつけなければいけないと自分に言い聞かせて走って(運転して)います。

【感想】

- ・シートベルト着用がいかに大切かを学んだ。車と運転する人が一心同体なる大切さ(ドライビングポジション)多くのドライバーが出来ていない。年をとるにつけての動作、目の衰え運転に集中することの大切さを知りました。
- ・五原則、隊員の方へ聞かせてやります。
- ・高齢者の視点や事故を起こさないために大切なシートポジション、ハンドルを握る位置、ドアミラーの位置(合せ方)も詳しくお話し下さったのでとてもわかりやすかったです。又、見るだけでなく耳からも情報を集めるため、窓を少し開けて周りの音を聞くといったお話も高齢者ドライバーに指導する中で伝えて行こうと思います。
- ・まず、テレビで見たことのある方が目の前にいらしたことにびっくりしました。先生のご活躍のビデオを見たあとにシートベルトに何度も命を助けられたという話を聞いて改めてシートベルトの大切さを知ることが出来ました。
- ・プロフィールDVDに感動しました。いつまでも同じ夢を持ち続けていくことの大切さを知りました。第一に健康でないと続けられないことも篠塚先生を拝見してわかりました。生き生きされていたのが若さの秘訣ではと感じました。
- ・自分の体験でわかりやすく高齢者の方への伝わりが良かった。
- ・世界的に有名な先生に講義いただき感激でした。交通安全 5 原則、是非高齢者に徹底して守っていただくよう努力します。
- ・短い時間ですが穏やかな口調ややわらかな態度から、優しくて強くて器の大きい人だと感じました。若いころにされた苦労やラリーでの裏話などもお聞きしたかったです！！(交通安全とは少し外れますが…)スイマセン。

講義「交通安全教育デモンストレーション」
(警視庁交通総務課安全教育係)



警視庁交通部交通総務課交通安全教育指導係の
活動紹介

【警視庁で実施されている活動について】

・警視庁女性白バイ「クイーンスターズ」

東京マラソンやパレードの先導や幼児から高齢者の横断訓練・自転車教室・二輪車実技・四輪車まですべての交通安全教育を行っている。

【交通安全の効果的な方法について】

・『環境』が重要

太陽の光や何かが視界に入ることなどにより気が散ってしまうため、参加者が集中できる環境を考える必要がある。

・手法を知る

子供の特性として、集中力が持たないことや理解力が低いことが交通安全教育をするうえで不利である。

子供が惹きつけられるパペット人形や腹話術人形・着ぐるみなどを活用し、子供の視線をひきつける工夫が必要になる。退屈な交通ルールも遊びの一環として覚えられると良いと思う。

・内容について

幼児対象の場合は道路の渡り方と信号の見方の2つのみに焦点を当てている。パネルを使い視覚に訴え、わかりやすい言葉で行う。一方通行にならないよう対話式で子供たちに自分で考えて動いてもらうことが大事。

実技を行う際は必ず見本を見せる。その際は動作を付けて大げさに行う。

・『導入』が重要

安全教育を行う前には「導入」を入れることで受講者の気持ちを向けることができる。

・標識体操の紹介

頭と体を使った体操で、標識のパネルに合わせて掛け声とポーズを行う。

標識を良く見ることが道路に出た際にとっても大切になる。周りを良く見て危険なものを見つけることが交通事故に遭わないことにつながる。

パネルを変えることで子供から高齢者まで対応することが出来る。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 質問・回答・感想 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【質問】

幼児の教室は年に何回、何分コースで行っているのですか？

パペットを使う際も同じ信号の見方、渡り方の指導なのですか？それとも寸劇的に違う内容を行っているのですか？

【回答】

基本的には各警察署で管内の幼稚園の安全教育を担当してもらっています。入国後、長期休暇前、安全運動中など 年 1~2 回が多いようです。

時間は、

おはなし 15 分位(導入含めて)

横断訓練 1 人か 2 人 1 組で(年齢に応じて)

内容については基本的に同じです(読者+パペット等)

寸劇的なものだと一方向の安全教育になってしまいがちなので双方向を心がけています。(考えさせる)

パペットや腹話術人形はあくまでもひきつける、ボケ等 補助的役割で大切なところは話者が行っています。交通安全人形劇のような全て人形(パペット)しか出てこない場合は、ストーリー性をもたせて、飛び出しの危険性(道路で遊ばないこと) 信号の見方 渡り方 を行っています。

【感想】

- ・4つのいろいろなグッズ(標識類)を使っての安全教室はとても楽しく参加しました。歌と踊りを取り入れ子どもにも高齢者にもとてもやさしくおもしろく記憶に残りやすいと思います。集中力を養うにもとても良い。
- ・幼児から高齢者に対してわかりやすく興味を持てる会話よりの言葉とアクションを取り入れたい。
- ・ピーポー君の交通安全教室。参考にして隊員の方と考えて行きたいと思います。ありがとうございました。
- ・「アイコンタクト」「道路を渡る時は真面目にふざけないで渡る」という言葉を使うことが今までなかったので今後は使って行きたいと思います。
- ・白バイ隊クイーンズ ひろせさん うめさん えどかわさん ありがとうございました。それぞれの年齢に応じた導入の大切さを知りました。クイズ方式は参考になりました。「しろやぎさん～」のお話検討させていただきます。えどかわさんの標識体操 1.2.3～声にインパクト！実践していきたいです。
- ・子供は何を考えているか、先を予測しながら行動を見るようにしたいと思います。
- ・ピーポーくん、保育園児になった気持ちで良くわかりました。

事例発表

金本 佳津宏(兵庫県)



【発表内容】

伊丹警察、伊丹交通安全協会、伊丹市の3者により、就学前児童から中学生まで発達段階に応じた交通安全教室を開催している。

成人向けの自転車安全教室の受講者の増加を目指し、市内の自主防災訓練とコラボし講座や実車による練習を行っている。

幼児交通安全教室

- ・就学前児童を対象に幼児にわかりやすい視聴覚教材を用い、講和や模擬信号を利用した横断歩道での「3本指のお約束」や横断マットでの歩行練習等を実施している。
- ・保護者来園時は「自転車安全利用五則」の説明を行っている。
- ・2年前より対象を全就学前教育施設に広げ50カ所で開催している。

自転車安全教室

- ・小中学校を対象とした自転車安全教室は教育委員会主導で実施している。
- ・教室参加者の年齢に応じたDVDを選択し講和の内容を作成している。
- ・「自転車安全利用五則」や自転車の走行場所、自転車運転講習制度の説明を行っている。
- ・自転車保険や放置自転車対策について説明及び質疑応答を行っている。

高校生以上を対象とする成人向けの交通安全教室

- ・自転車を安全に利用するための基本となる交通ルールや道路上での自転車の走行場所についてDVDやパネル、パンフレットを使った講座を行っている。

交通安全イベントについて

- ・より多くの人に自転車の交通安全ルールとマナーを学んでもらうため様々なイベントを大型商業施設等で行っている。
- ・多くの市民に交通ルールやマナーを守ることの大切さを知ってもらい、交通事故の減少と交通安全意識の向上を目的に各種団体の協力を得て行っている。
- ・秋の交通安全フェスタは今年で20回目となり来場者は4000人を超えている。

事例発表

山下 咲子(熊本県)

配布資料:

折り方資料(ハッピーくす玉、バースデイキャンドル)



【発表内容】

自己紹介の方法

講和を参加者の心に留めるには初めが肝心との考えにより、名前を伝える際に手作りの教材を使用している。

- ・書籍を参考に紙一枚で出来る簡単マジックを行っている
- ・参加者から笑顔拍手をいただき講習に入り易くなる

高齢者用として活用

- ・小さい文字から大きい文字へ変化するマジック
(42 cm × 59 cmのケント紙、耐水性ペンを使用)

保育園・幼稚園用として活用 1

- ・と同様の手法にて平仮名を用いて行う

保育園・幼稚園用として活用 2

- ・紙で作成したくす玉のマジック
くす玉を知らない子もいるので先に本物のくす玉を見せてからくす玉マジックを行っている
(42 cm × 59 cmのケント紙、耐水性ペン、油性ペン、色鉛筆、蛍光ペンを使用)

高齢者・一般用として活用

- ・名前を絵に表現したマジック
参加者に参加してもらうこともある
(38 cm × 54 cmの画用紙、耐水性ペン、色鉛筆を使用)

、 の折り方は配布資料参照

事例発表

青木 章子、西野 大吉、吉田 洋(大阪府)



【発表内容】

交通安全劇

- ・「森のペンキ屋さんと交通安全」...各園を 訪問し、実演した
- ・「白雪姫と森の仲間たち」...「交通安全園児の集い」にて就学前園児を対象に実演した

当日は「森のペンキ屋さんと交通安全」を実演にて、「白雪姫と森の仲間たち」をスライドにて発表を行った

「森のペンキ屋さんと交通安全」

- ・「止まれ」の説明は大切なのでお巡りさんにしている
- ・園児を守るための「5 つのお約束」を作成し園児と共に唱和している

「白雪姫と森の仲間たち」

- ・交通安全のクイズに正解し、魔法が解けて、白雪姫は目を覚ます

講義「子どもの交通行動を理解するための心理学」
山口 直範
(大阪国際大学人間科学部人間健康科学科准教授)



配付資料:「子どもの交通行動を理解するための心理学」

本講義の目標:

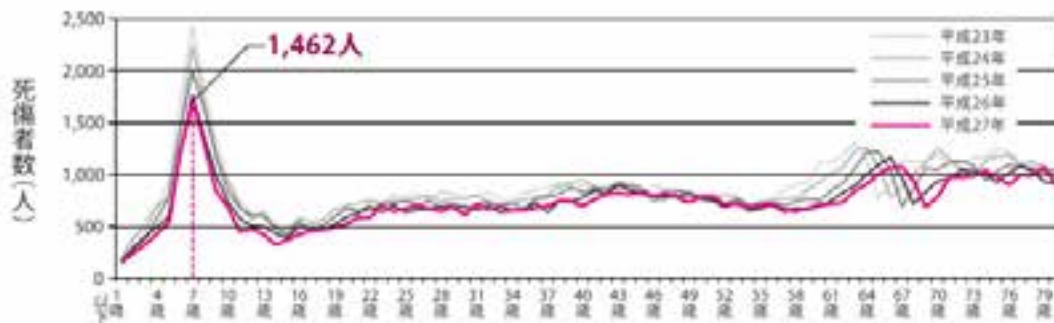
子どもの交通行動を理解し、子どもが自ら学ぶ能動的な交通教育の実施。

1. 発達心理学とは - 子どもの交通行動を理解するために -

発達心理学とは、乳児期(胎児期を含む)から老年期まで、人間の生涯にわたる発達を扱う心理学であり、人間は人生を全うする最後まで発達を続けていくといった「生涯発達」の考え方を持っている。加齢とともに心も体も行動も変化していく過程のことを発達と呼んでいる。

発達段階: 新生児期・乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期

2. 子どもの歩行中の事故



歩行中の交通事故死傷者数 (ITARDA, 2016)

- ・7歳の事故が突出して多い
- ・ITARDAの報告による7歳児事故の特徴より、土日は親と一緒に行動している可能性があり、1人や友達同士の時に事故に遭っていると考察される。
- ・集団登校は、防犯上は良いが交通事故の観点からするとデメリットでもある。
- ・学校の統廃合により児童の通学距離が長くなり道路上にいる時間が多くなったことも要因にあがる。

3.子どもはなぜ道路に飛び出すのか

子どもの交通事故の要因で最も多いのは道路への飛び出し。

- なぜ子どもは飛び出してしまうのか？

(1) 子どもは見えていない

大人と比べて子どもは未発達である。背が低い、腕力や脚力が弱い、知的能力が未熟ということに加え、見えている範囲が違う。

- ・ 生後 6 カ月未満：視力は 0.01 程度。眼前 25～30cm あたりしか見えていない。
- ・ 生後 6 カ月以降：ピント調整が可能。物に対する識別能力が高まる。

<5～6歳の幼児と大人の見えている範囲の違い>

幼児と大人の視野の比較

	幼児	大人
水平方向(横)	90 度	150～160 度
垂直方向(縦)	70 度	120 度

視野が狭いのは、幼児の発達の特性として理解したうえで「右見て、左見て」道路を横断することの意味や重要性を子どもや保護者に伝えていくことが大切である。左右を確認することで何かが近づいてきていることを認識できる。さらに運転手とアイコンタクトをすることで運転者からの認識を得ることもできる。

(2) まだ他者理解ができていない

発達心理学者のピアジェは「自己中心性」という幼児期独特の物事のとらえ方を提唱している。自己中心性とは、身の回りのできごとを自分に引きつけて考えてしまうため、相手の立場から物事を見ることができないということ。やがては相手の立場で物事を考えることができる「心の理論」の獲得へと移行していく。心の理論の獲得とは、他者の心を推察したり、理解したりできることであり、これらの経験により、やがては自分がその場でどうすべきかといった社会的役割の取得へと発達していく。

歩行者又は自転車としての交通参加経験しか持たない幼児が、車の挙動やドライバーの心理を理解できるわけではない。幼児に相手の気持ちを考えさせるというような理不尽な要求をするよりも、大人が幼児の行動特性を理解することで、大切な子どもの命は守られる。

(3) 子どもは感情コントロールが苦手

就学した子どもの多くは、自分の感情をコントロールすること、すなわち「情動発達」が未熟。

乳児や幼児は養育者のことを避難場所、安全基地として認識をしているため、「危ない！」と声をかけると、危険を察知したので避難場所に行かなければと返って飛び出して来てしまう場合がある。そのようなときには「止まれ！」「そのまま！」といった具体的に行動を指示する言葉をかけるよう大人が気をつけなければならない。

4. 子どもの命を守り続けるために

(1) 目先の安全にとらわれない本当の交通教育とは

ドライバーは運転中、危険が顕在化し、目前に迫る前に危険を予測して、対応しなければならない。子どもの交通行動の場合も同じであるが、養育者が子どもを交通事故から守ろうとする気持ちが強すぎ、危険から遠ざけるばかりの教育になってしまっていると、何が危険でどうすればよいのかを学ぶ機会を奪ってしまうことになるため、子どもに危険を考えさせる領域を残しておかなければならない。大人と一緒にいるときに危険が潜んでいるところに散歩へ出かけ、危険感受性を養い、子どもが自ら学ぶ機会を作ることが必要である。

(2) 子どもが自ら学ぶ能動的な交通教育

勉強と学習の違い。勉強の語源をたどれば、勉めることを強いるという強制的な意味があり、それに対して学習とは、自ら学び、人に習うと書く。その言葉には、やらされているのではなく、能動的な意味がある。

子どもにとって、交通安全教育は自ら学び、人の行動から習う学習であり、「安全確認しなさい」「気をつけなさい」と他者からやらされている勉強ではない。

子どもは心の動きに強く支配されている。他者にやらされている行動は、監視の目が届かなくなればサボりがちになる。しかし、自分で自ら能動的にやる行動はその限りではない。

子どもの命よりも大切なものはない！

大人は子どもよりも先に人生を終えるため、有効な交通安全教育を実践することは、自分がいなくなっても、子ども達の生涯にわたる命を守り続けることができる教育である。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 質問・回答・感想 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【質問】

幼児の特性として「下を向いてしまう」ことがよくわかり、その上でどの様に声かけすべきか、また「上を向く」「渡りながらも左右キョロキョロ見る」が適切か。しかしわからないからといって言わないはないだろう？ではどのように？と思い、お聞きしたいと思いました。

また「手上げ」については幼児にとってどのように思われますか？交通安全は同時にやる行動の多さも幼児がどの位理解してできるものだろうかとも思います。

【回答】

道路を横断する前は「車が来ていないか見てね」などの具体的な表現がいいと思います。

右見て左見てだけでは、首を左右に振る習慣だけが身につく、安全確認が不十分かもしれませんから。また、横断中も車が来ていないか確認しながら歩くことも大切です。

次に手を挙げて横断する行為ですがメリットとデメリットがあると思います。

手を挙げる行為は、ドライバーに認識されやすくなるだけではなく、歩行者の横断意思の表れでもあります。そのためドライバーは子どもが手を挙げている姿を認識すると進路を譲ろうとする気持ちが生じるものではないかと思います。ただし、幼児期・児童期の子どもは身体的に未発達でバランスが良くなかったり、大きめのサイズの靴を履いていたりすることがあります。そのため、片手を上げることにより転びやすくなるリスクもあります。手を挙げての横断につきましては、地域により方針が異なっているのが実情です。

【質問】

障害施設へ交通安全教室に行くことがあります。その時に他とは違う注意すべき所や、特徴などを教えて下さい。

【回答】

障害児・者施設での交通安全教育は、多岐にわたるため非常に難しいと思います。肢体不自由などの身体障害、知的障害、発達障害など、障害の特性や個人差により、指導内容が異なるからです。一般的な障害児・者の自立支援と同じように「個」を尊重して、個別の対応をすることが有効だと思います。

【感想】

- ・とても楽しく大切な講義を受講できました。今後の交通安全教室に取り入れて子どもの命を守る大切な教室になるように努めてゆきたいと思います。
- ・「危険感受性」親が幼児の時から横断歩道の渡り方を教える。親が危険かた遠ざけるばかりの教育。現場へ連れて行くと肌で感じる。親が子ども自ら学ぶ機会を奪っていると感じた。
- ・大変興味深く、役に立ちました。視野のこと、情動発育すばらしいお話だったです。ありがとうございました。メガネもとてもお似合いです。
- ・すばらしかったです。また先生の講義をお聞きしたいです。ありがとうございました。
- ・子ども視覚、見ている範囲が大人と違うと言うことを今日の講義で初めて知りました。今後幼児向けの交通安全教室で子どもは大人と違うこと、全てにおいて発達途中であることを踏まえて指導して行きたいと思います。とても楽しくわかりやすい講話でした。ありがとうございました。
- ・子どもの特性を十分理解しているつもりでしたが、その具体的な数値、年齢を初めて知り、まだ不十分であったことがわかりました。講話の内容等をもう一度見直したいと思います。
- ・大変貴重な学びとなりました。ありがとうございました。「勉強」と「学習」の説明の中での「習」については「機において実践する」つまり「学んだことを使うときが来たら実践する」という意味があったと思います。(論語:学而第一)参考ですが違っていたらゴメンなさい。
- ・参考文献の掲載ありがとうございます。とてもテンポの良いお話し方で(例題もわかりやすかったです)興味津々でした！子どもの行動特性を理解し安全教育に励みたいと存じます。
- ・今まで正しいとやっていたことが良くないことに気づき子ども達に考えさせるということを思い知りました。
- ・自分で考えさせる。まったく同感です。交通だけでなく目先のことが多すぎる。具体的な部分をもう少し多くお話しただけないでしょうか。
- ・子どもの視野範囲は大人に比較してとても狭いということがはじめてわかり、これからの指導方法を考えるべきと思った。勉強と学習の違いもそうなのだ！と思いました。初歩？

・心理学、とてもおもしろいです。子どもの気持ちや特性が心理学で知れるとは思っていませんでしたので。たくさん本を読みたいです。

12月14日(水)11:45～11:55

閉講式・主催者挨拶

和田 昭夫(内閣府 大臣官房審議官)



最後に、受講者を代表して、熊本県・山下様に修了証が授与され、閉講した。

閉講式・挨拶全文

ただいまご紹介いただきました内閣府大臣官房審議官の和田でございます。
皆様、3日間お疲れ様でした。

この講座の実施にあたり、ご協力をいただきました講師の先生方をはじめ、関係者、
関係団体の皆様に厚く御礼を申し上げる次第であります。

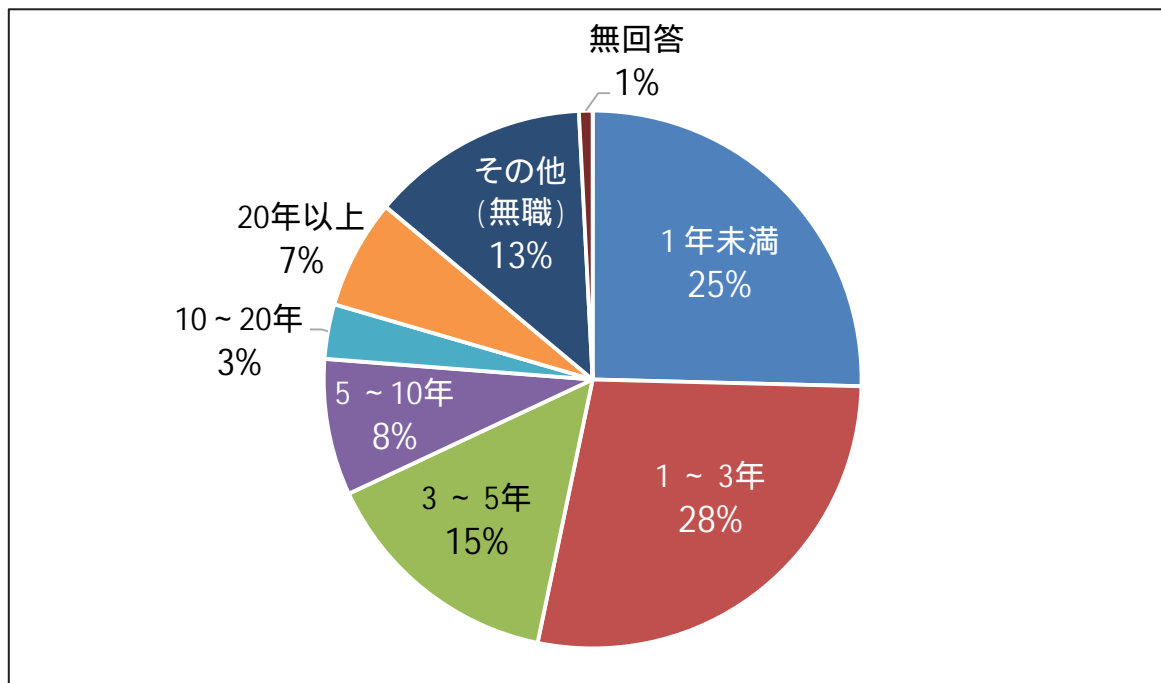
また、ご参加の皆様におかれましては、それぞれの地域に戻られて、引き続き交通安全教育や街頭活動へのご支援ご協力をお願い申し上げますと共に皆様方のご健勝をご
祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。

4. アンケート集計結果

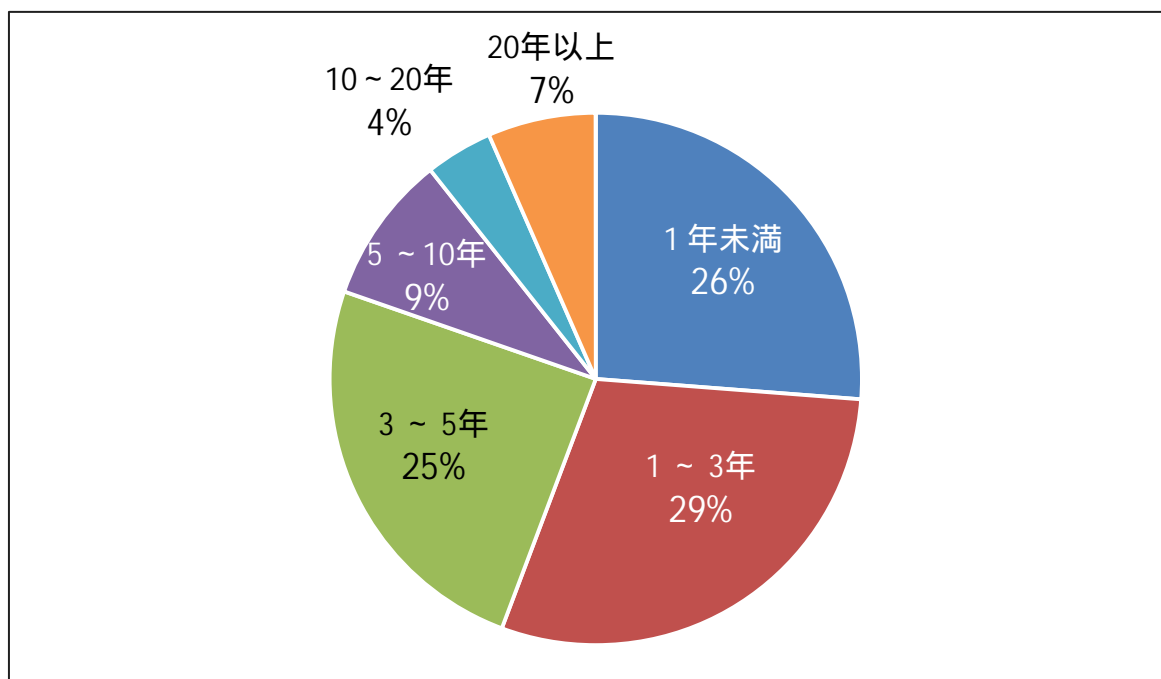
平成 28 年度交通安全指導者養成講座:アンケート結果

回答数 122 件

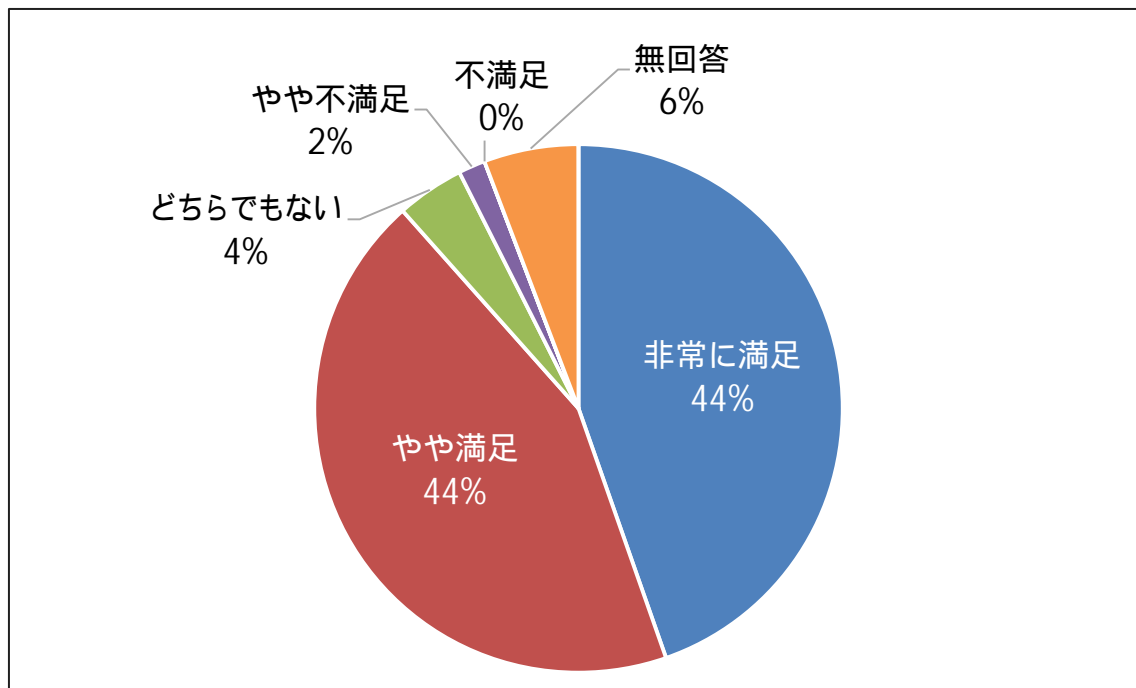
1. 現在のご職業の在職期間は？



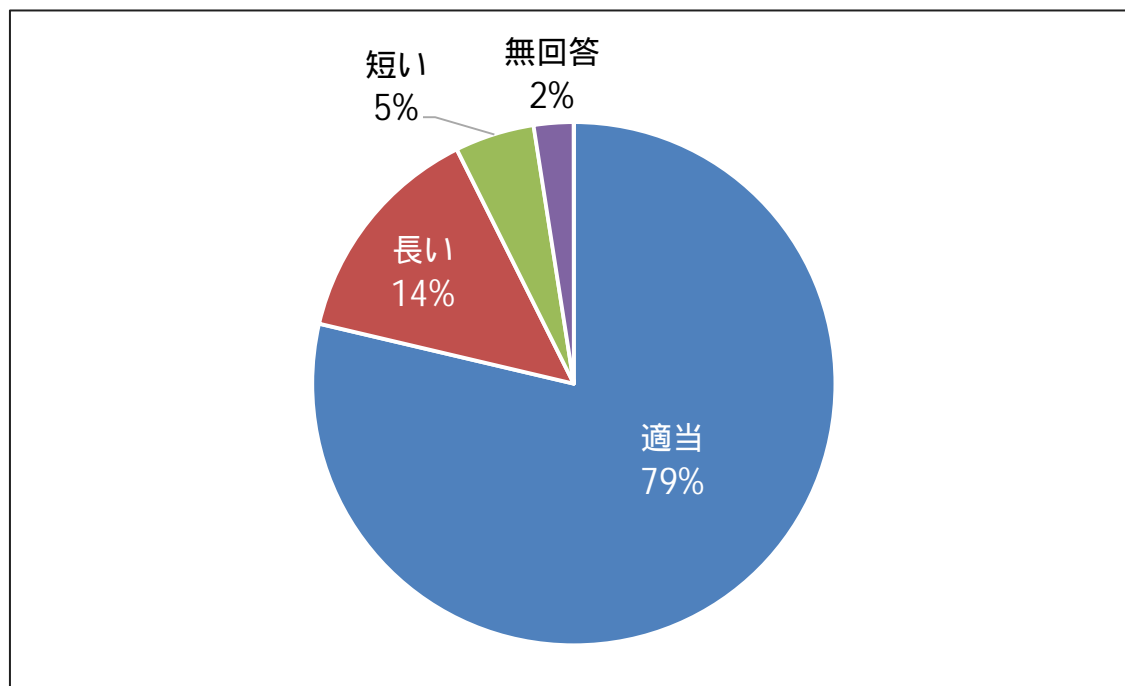
2. 交通安全業務の経験期間は？



3. 3日間の講座内容は？



4. 本講座の開催期間: 3日間という日程は？



長い

長いと回答された方、適当と思う日数は？

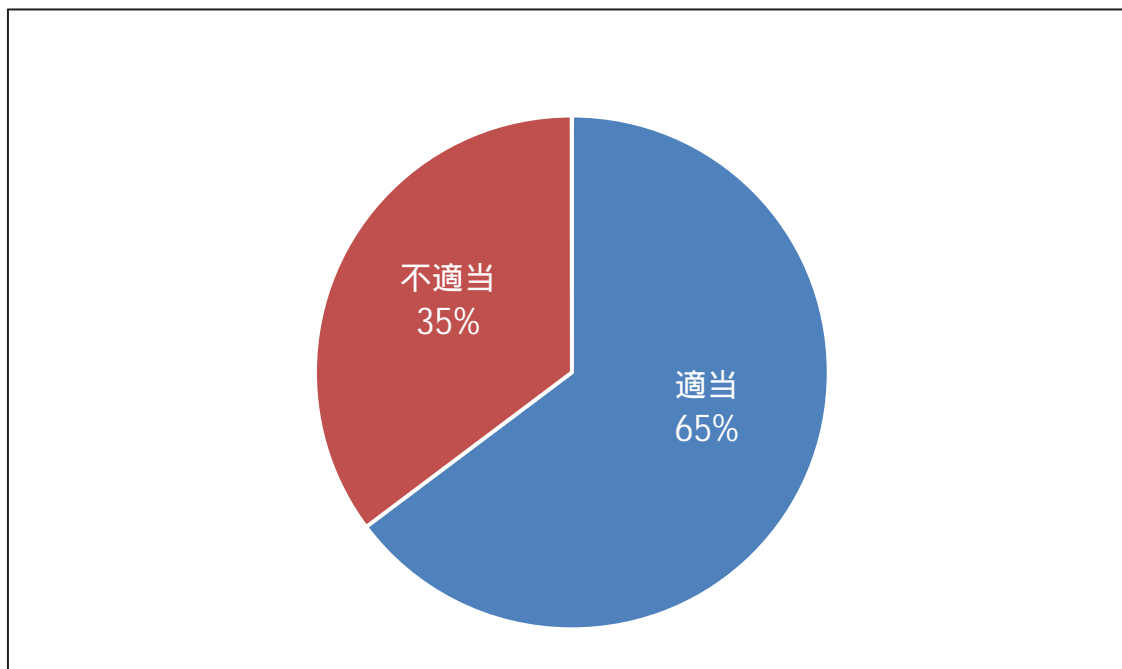
1日間	0名
2日間	16名

短い

短いと回答された方、適当と思う日数は？

4日間	3名
5日間	2名

5. 本講座の開催時期：12月初旬という日程は？



適当

- ・年度初めは勤務場所を空けることが難しい。
- ・私事で言えばあたたかい季節が望ましいが、仕事の間に参加することを考えると指導や行事等が一段落着くこの季節がベストなのだと思う。
- ・学校行事等が終わり、日数が取りやすいが3日間は長すぎる。
- ・12月は教室が少ない。
- ・交通安全教室の開催が少し少なくなるため。
- ・出来れば11月中旬～12月上旬がいい。年変わりの時期より少し早めにあった方がバタバタしない。
- ・交通安全教室が終了し、来年の教室案内を考える時期だから。
- ・交通安全教室と時期がかぶらないので良い。
- ・私の地区に限っての話かもしれないが、仕事も落ち着く時期であったため。
- ・年末であり交通教室やイベントなどが入っていないから。
- ・市の交通安全教室もほぼ終了しているため。
- ・業務が多忙なときではないので良い。
- ・仕事が少し落ち着く時期であるため。

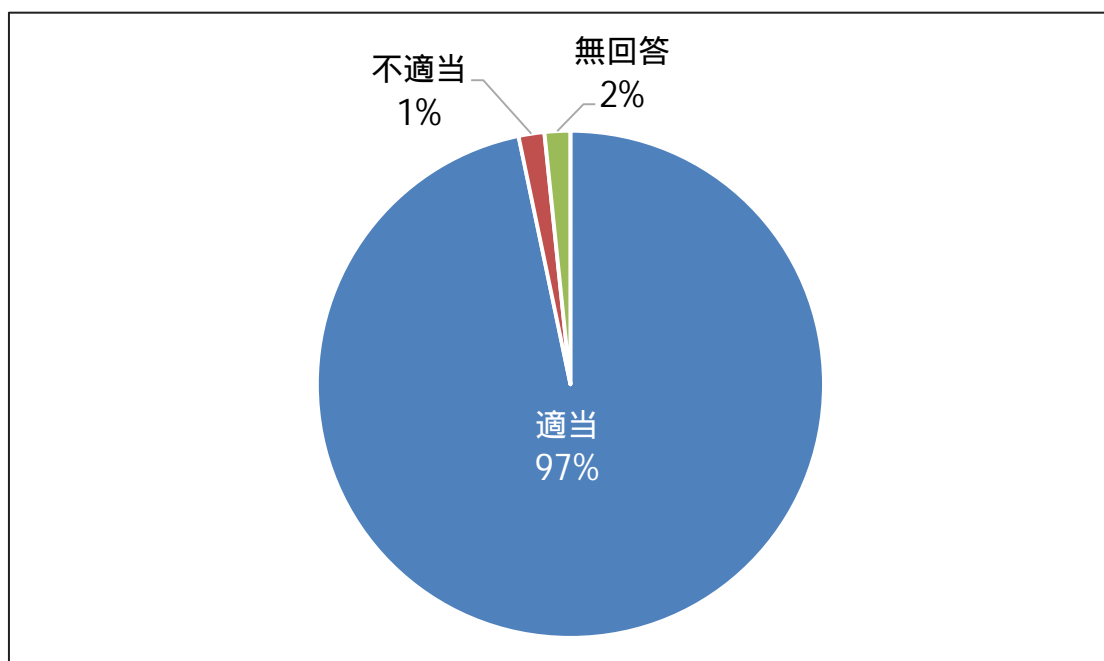
- ・秋の運動後、大きなイベントが終わり教室も落ち着く時期なので。
- ・12月は交通教室が少ないので日程調整しやすい。
- ・交通教室等が落ち着く時期なのでありがたい。
- ・今年の活動を振り返りながら勉強できるから。
- ・職場在籍9ヶ月(最短)以上のため、持ち帰り活用するイメージが出来ると思います。
- ・現在活動している多種に渡る教室開催が少なくなる時期である。
- ・全く問題ないと思います。
- ・日程調整上可能な時期なので。
- ・春、秋は交通安全教室の回数が多いですが、冬のこの時期は回数が落ち着くため12月中旬より、上旬でも良いと思います。
- ・次年度就学者への交通安全教育に近いため。
- ・交通安全教室が少ない時期なので。ただ、降雪の心配もあるので、他の時期でも良いと思う。6、7月等。
- ・他の月も考えられるが春先はどこも忙しいように思うし、この時期の方が講習も少ないように思う。
- ・交通安全教室が終わって、12月は一段落できる時期なので、ちょうど良い。
- ・学校・園の交通安全教室開催日程から外れるのが良い。
- ・来春からの職員指導等への準備ができた。
- ・業務があるが何とかできるので。
- ・交通安全教室の申込が少ない時期。
- ・出勤業務が少ない時期なので良いと思う。
- ・小学校等の安全講習が、ほぼ終了している時期と思われる。
- ・行事等が重ならない。
- ・指導が一段落してスケジュールが落ち着く時期なので調度良い。

不適當

- ・子供たちの夏休み期間中(7月下旬~8月)にしていただければと思います。朝の立哨を欠席しているので保護者の方々に負担かと思いました。
- ・年度始めの4月頃でない取り組み方に影響するかも。
- ・年末は行事が多いためもう少し早い方が良い。
- ・12月はいろいろと忙しい時期。
- ・今回札幌は飛行機が遅れてしまったから。
- ・東北は雪で来るのが大変。
- ・雪などの影響で電車が動かなくなったりする場合もある。
- ・決算、議会時期であり他職員に迷惑がかかる。
- ・雪国から来るのは大変。
- ・年末で忙しいため。
- ・雪の影響で交通機関がスムーズではなく、1日目の研修を受けることが出来なかった。雪の降る時期は避けて欲しい。

- ・県の交通安全運動と日程がかぶってしまったので10月～11月ぐらいがいい。
- ・年末の交通安全県民運動と日程がかさなったため運動期間中の業務が出来ない。
- ・12月は忙しい時期。11月頃の方がいいと思う。
- ・年末は慌しいのもう少し早い時期が良い。
- ・気ぜわしい。寒い(雪の心配。交通)
- ・師走は避けてもらいたい。
- ・とても忙しい時期で仕事を休むのも気が引ける。また風邪等体調を崩しやすい時と重なるのでせめて10月～11月。
- ・12月中旬は大変忙しい。ホテル予約も大変。12月中旬から10月頃に変更してもらえれば幸いです。
- ・北日本の天気を気にしなければいけない。
- ・冬の交通安全県民運動期間中なので、その期間中は避けて欲しい。
- ・新潟県は雪が多いので除雪がある。
- ・年末は忙しいのもう少し早くが良いかと。
- ・暮れで多忙。
- ・学校が休業日(夏、春)ですと、毎朝の勤務がないので良い。
- ・交通安全運動期間にあると地域の活動に参加できない。
- ・12月は行事が多く忙しい。
- ・年末でそれぞれの出席者が忙しいと思われるから。
- ・商売を個人でしている者には忙しい時期だから。
- ・交通障害が多々発生の時季。
- ・年末の慌ただしさに加え、東北地方では前日に雪が降り交通機関の混乱の不安があったため。
- ・4月から交通安全指導に携わっており、この様なすばらしい研修会を早々に体験していれば、日々の指導がやりやすくなると感じました。
- ・12月中旬は年末ということもあり、気ぜわしい気がするので。
- ・冬は交通機関などが順調に動かないので。
- ・年末の忙しい時なので、変更できるのなら、してほしい。
- ・12月は行事が多すぎる(地域差)と思いますが？
- ・年末年始にむけて業務が重複しており予定が取りづらい。
- ・寒いと上着など荷物が多くて大変。
- ・年度始めにした方が、講座を参考に話をすることが出来るのではないか？
- ・年末の交通安全週間にあたり運動に参加できないため。
- ・中旬は、交通安全県民運動と毎年重なるので、上旬が良いと思う。

6. 本講座の開催場所:東京・市ヶ谷駅近くという場所は?



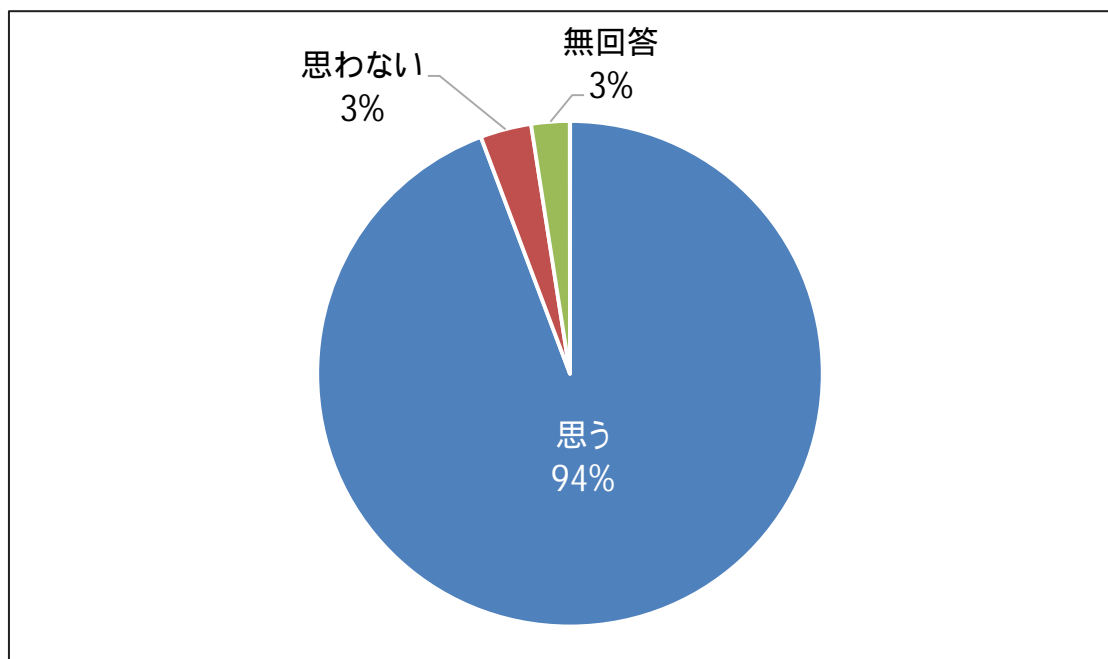
適当

- ・場所は交通の便利さと駅近くが一番かと。
- ・いずれの場所であれ駅近はありがたいです。会場は宿泊が安くすむホテルでお願いしたい。
- ・駅から近い、大きな駅ではないが比較的便利な場所。
- ・利便性があってよい。関西であっても良いと思う。
- ・駅に近くてわかりやすい。
- ・乗り換えはあるけど、いろいろお店や乗り物に困らないから。
- ・アクセスしやすい場所でホテルを取りやすかった。
- ・東京駅からも近くとても便利でした。
- ・駅を出てすぐにアルカディア市ヶ谷の建物が発見でき、わかりやすかった。近くに飲食店、コンビニにもあり場所として適当だと思う。
- ・日本の真ん中だから。
- ・東京都内、駅近であればアクセスも良い。
- ・市ヶ谷駅適当。会場は早めに予約して欲しい。今後は初期コース、これまで参加された方の構成の講座を毎年開催して欲しいです。
- ・日本の中心部なのでいたしかたないかと思う。
- ・関東近県の方は良いと思うが、遠方の方は大変そう。
- ・全国から集合することを考えると、適当だと思われる。
- ・駅の近くであれば、どこでも良いです。
- ・立地が良く、交通も便利。近隣ホテルもたくさんなので遠方から来てもわかりやすい。
- ・東京駅から近くて、市ヶ谷駅からも近いので迷うことなく来れてよかった。

不適當

- ・東京駅、上野駅の近くが良い。
- ・子供が小さいので遠出、外泊は大変な面がありました。大きくブロックを分けて地区ごとに開催をしていただけると助かります。(良い気晴らしの理由にもなりましたが…)

7. 本講座で受講した内容を今後活用したいと思いますか？



思う

- ・一方的にならず相手の方にも答えを導き出していただき関心をもってください。
- ・高齢者の方にもっと声かけをして行きたい。
- ・現場に赴く指導員と行政との連携を密にするためにも、本講座の内容を有効に活かして行きたい。
- ・実際の場面に当てはめて活用できるものは積極的に活用する。
- ・よりわかりやすい説明、より納得してもらえる指導につなげたい。
- ・まずは自分がいる団体の皆さんに発表して、その後地域で役立てたい。
- ・具体的な例をとり入れたり、他県の方から良い情報を聞いたり、今後の活動のきっかけとしていきたい。
- ・これからの交通安全指導を行う折に、絶対必要な話術が学べたこと、とても参考になりました。ぜひ活用したいと思います。
- ・藤原先生からお話しいただいた、視点法、ロジックツリー、要点をつかんだ話し方。
- ・話し方や態度など、全てが交通安全の指導につながるため。
- ・高齢者の方にお話する際、わかりやすく要点をまとめて話ができるように藤原先生の方法を活用していきたいと思う。
- ・まず、話し方、伝え方を変えて行きたい。

- ・今までの交通安全教室を見直したり、接し方を改めたりするよい機会になりました。
- ・体操等を活用していきたいと感じた。
- ・グループディスカッションをした際に、色々な講習のやり方を学べてとても良い機会だった。
- ・話し方など学んだことを活用したい。
- ・他の県の方の話や講師のやり方を取り入れていけば教室の幅も広がる。
- ・各都道府県での活動や取り組みを自分の所でも活用しているいろいろなことを実践したい。
- ・一方的に話すだけでなく受講者に考えてもらえるような講話にしていきたい。
- ・実際に幼・保で上手に聞いたことを実践していきたいです。
- ・現在、児童、学生、高齢者に対して交通安全指導教育を促進しているが、藤原先生の相手に伝える話し方が大変有益でした。これからの講座で活用したいと考える。
- ・命を守るという熱い気持ち。他市での取り組み。
- ・幼稚園、保育園の安全教室に。
- ・交通安全教室で参加者にもっと分りやすくするために良いと思った内容を活用したいと思います。
- ・子どもや高齢者の交通安全教室を行う際に目線のくぶり方や声の出し方に気をつけたいと思う。
- ・様々な県のやり方を取り入れることで目新しい交通講話にしていきたい。
- ・話し方について、今後言葉選びに注意して話さなくてはいけないと思った。また他の地区の方々と話すことによって、交通教室の内容の違いなどもあり、いい意見が聴けた。
- ・担当している交通安全教室、イベント等に役立たせていきたいと思います。
- ・自身が行っている講習会で取り入れたい。
- ・人の心理など、交通安全の知識だけではないところをこれからの話に生かしていきたいです。
- ・他の県での交通安全教育の仕方、考え方等、参考になる点が多くあった。話し方や、教材の使用の仕方、相手の理解の度合いが変わってくると思うので工夫したいと思った。
- ・子どもたちへの交通安全教室を行うときに活用したいと思います。
- ・警視庁の方たちの導入教材は参考になりました。小学生等に活用したいです。
- ・活用できる部分は限られていると思いますが、実際の交通教室で紙芝居の読み方など活かして行きたいです。
- ・地域の人に伝えたい。地域の集まりなどに活用したい。
- ・子ども達に指導する上で勉強(実務)を通じて知識を得る必要がある。学校訪問する時でも自信がついた。
- ・しゃべり方、発声の仕方など。
- ・日々の業務に。
- ・話し方や心理学をうまく取り入れて行きたい。他市さんの指導法も真似させて貰いたい。
- ・警視庁の方の教育方法は真似出来るものが多かったので今度やってみたいと思った。
- ・「交通安全指導における効果的な話し方」では自分自身の生活面において大切な講義だった。指導員としての自覚の再認識はもちろん、主人、子ども、人とのかかわりにお

- いて一番大事なことを教わったと思う。
- ・幼児・児童への交通安全教室の中で。また指導員の研修の中で。
 - ・交通安全教室。
 - ・講習の際の話し方、視線、言葉など具体的にわかりやすく教えていただき大変参考になりました。
 - ・母の会としてアイデアを出して活動につなげたい。(反射材の定着化)
 - ・これからの教室に使っていききたい。
 - ・藤原先生の講義にはいろいろ気づかせていただくことができ、今後の教室に生かして行きたいと思いました。
 - ・関係する団体に情報を提供し、皆で活用を考えても良いと思います。
 - ・効果的な話し方は大変参考になりました。
 - ・地域での高齢者、子供、父兄紙芝居。小中高校生への交通、自転車教室、夜間でのタックルバンド等の使用を推進。
 - ・話し方、進め方(ディスカッションの活用等)。
 - ・従来のお話し方を今回の講習を参考に組み立て直して活用したい。
 - ・藤原先生の効果的な話し方は非常に参考となり今後の講話に活用したい。
 - ・自転車教室、保育園、幼稚園などに活用したいです。
 - ・学校等の安全教育に行った時、すぐに活用できる。
 - ・効果的な話し方、少しずつでも取り入れて指導に生かせたらと思う。いきいき運転講座、機会があればやってみたい。
 - ・今まで幼児や学童を中心に活動していましたが、地区と老人会とも連携して活動していききたいと思います。
 - ・交通安全講習に活用。
 - ・いきいき安全講座、活用できるか試してみたい。
 - ・交通安全教室を伝えるための基本である話し方について、大変勉強になりました。聞く側の立場も考え、今後に生かしていききたいと思います。
 - ・紙芝居の活用と啓発時の話し方。
 - ・話し方、他都市の方の意見が参考となった。
 - ・そのままではなく参考にさせていただいてアレンジして使いたい。
 - ・高齢者の団体に所属しており、その会合の場を通じて、今回学習させていただいた事項を生かして伝えていきたい。また、地元小学校の交通安全教室でも伝えていきたい。
 - ・小、中学校や老人会等への出張講座。
 - ・各活動のたび、今一度講座資料を参考にし、徐々に活動内容を充実させていきたい。
 - ・今後の交通指導を行う際、積極的に自信を持って行動できると思う。
 - ・交通安全教育、指導に対する心構えや話し方、接し方等を活用したい。幼児の視野の狭さ、行動・特性を理解したうえでの立哨活動。
 - ・幼児から高齢者まで幅広い年齢の方々と接するお仕事であり、かつ、正しい交通ルールをその年齢に合わせて理解しやすく話す術を、もっと考えなければと痛感しました。言葉遣いや、相手に興味を持っていただくことを一番に考えて実践して行きたいと思います。

- ・交通安全教室での具体的な言い回しや言語、使用する教材。交通の知識とは別の教室を行う上での技など、実際に活用したい。
- ・教室での話し方など実践してみたい。
- ・効果的な話し方の話の組み立て方を安全教室等に取り入れたいと思った。
- ・実際の交通安全教室で活用したい。
- ・交通安全講習を行う上で参考になるようなことばかりだったため、より良い講習が行えるよう活用し、交通事故削減に努力していきたいと思う。
- ・デモンストレーションは参考になりました。
- ・紙芝居講座のときの歌は、安全教室で使えると思いました。いきいき運転講座のDVDも素晴らしかったです。
- ・話し方を参考にしたり、使用できるといった手遊び等は活用していきたい。
- ・交通安全教室での効果的な話し方を実践していきたい。
- ・自転車の運転に関する注意点。
 - 1) 講座内容を他の交通安全指導員に伝達し、共有化させる。
 - 2) 自分が教室担当のとき相手に伝える力を増やすよう工夫するために利用する。
- ・1、職場でのグループ討議 2、高齢者の交通講話 3、子どもや保護者への交通講話、等の際。市に持ち帰り、勉強資料として。
- ・より効果的な話し方にするには、どうしたら良いのか再考する機会になりました。紙芝居の演じ方、デモンストレーションを通じて、子どもの前に立つ時についても、自分のやり方を振り返り、よりわかりやすいものにしていきたいと思いました。
- ・コミュニケーションの上手な取り方。改めて気づいた誤ったくせや言い方、話し方を正しくしていき、内容の構成の仕方を参考に、わかりやすく耳障りの良い、また心にひびく教室作りを目指していきたいと思います。またラリーの経験からのお話のシートベルトの重要性を伝えたり、参加者の様子を参考にしながら進めていきたいと思います。
- ・相手に対し話しを伝える大切さ！いかに交通意識を浸透させるかについて！
- ・グループ討議で出た意見や改善点を活かしていきたい。
- ・いきいき運転講座を高齢者の交通教室に取り入れたいと思う。効果的な話し方を活用したい。
- ・各県の指導者の意見等を参考に活用できることが多いので、まずは実施したいと思います。
- ・話し方など、とても参考になった。
- ・手作りの教材を活用したいです。
- ・話し方、導入などを幼児にもっと工夫して伝えられるように活用します。
- ・職場に帰って共有したい。「効果的な話し方」、「いきいき運転講座」、「紙芝居の読み方」。
- ・紙芝居の演じ方が苦手なので喜怒哀楽の表現を練習する。口の開き方、発声も大切にす。
- ・交通安全教室の中で取り入れていけるものはやってみたいです。
- ・話し方や伝え方、そして傾聴力など身に付けていき本講座で得た知識やさまざまなアイデアを伝えたいと思います。

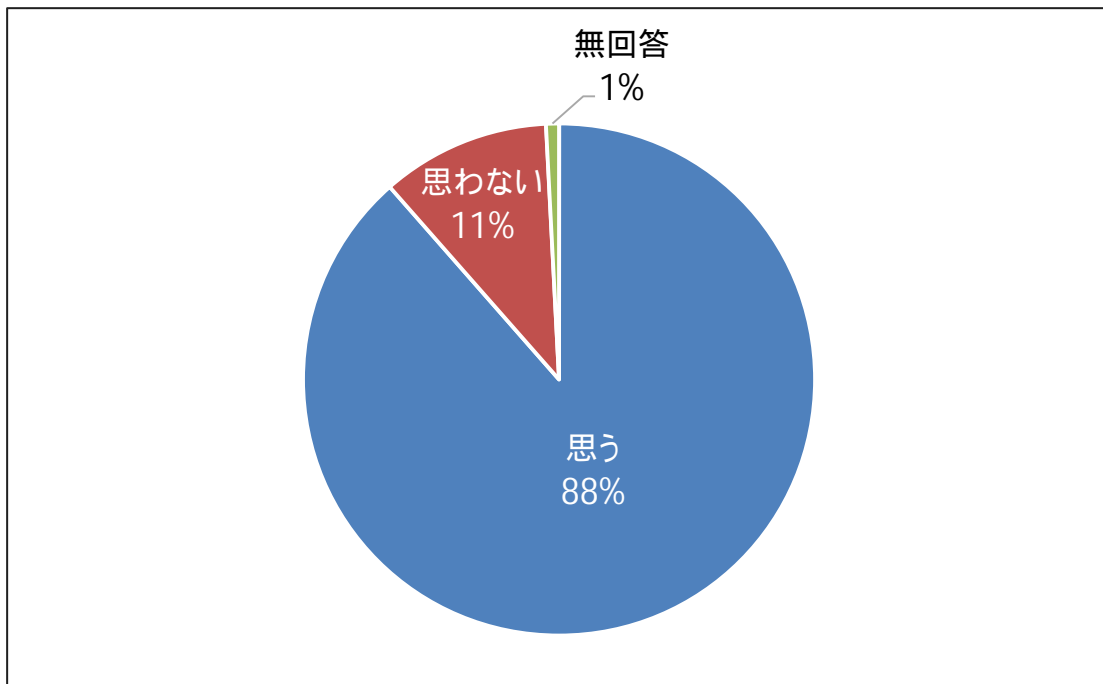
- ・効果的な話し方を、安全教育等で使いたい。
- ・新人なので、特に交通安全教室全般に活用して行きたい。子供(幼児、小学生、中学生)高齢者全般に活用して行きます。
- ・交通指導員安全指導における養成に。
- ・「勉強」と「学習」との違い。強制と違う「自分で習うこと」を幼児・低学年の指導時に役に立てたい。
子どもに交通安全指導をする場合の子どもの心理がよく分かったので今後に活かしたいと思います。
- ・今まで以上に小学生の交通安全指導に役立つ話(講座)を聞くことができたので活動に利用したい。帰ってから整理しようと思うが、安全教育での話し方等、いろいろと教わった気がする。出来れば、もっと若い時に来てみたかった。
- ・同じ目的を持った仲間から、色々な面からの話を聞き、自分達の地域に合ったものに作り変えて活用して行きたい。
- ・養育者に対する交通安全教育の機会を持ちたいと思った。
- ・とくに幼児の交通安全教室において、参考になりましたのでとり入れていきたいです。
- ・立哨指導がメインだったので、交通安全教室の開催など実施し、啓発していきたい。
- ・効果的な話し方は、とても良く、直に使えるものばかりでした。さっそく心掛けして実行しようと思いました。目頭を見る、相槌(おうむ返し)、覚えました。
- ・交通安全教室において活用していきたい。
- ・幼児安全教育の中で今までやって来たことと異なる意見等もあったので、それを参考にしながら指導方法の見直しもしていきたいと思う。「いきいき運転講座」も活用して、新しい指導方法も取り入れたいと思う。

思わない

思わないと答えた方、その理由は？

活用する機会がない	2名
活用したいが方法手順がわからない	1名
活用するほどのものがない	1名
その他	0名

8. 機会があればまた、本講座を受講したいと思いますか？



思わない

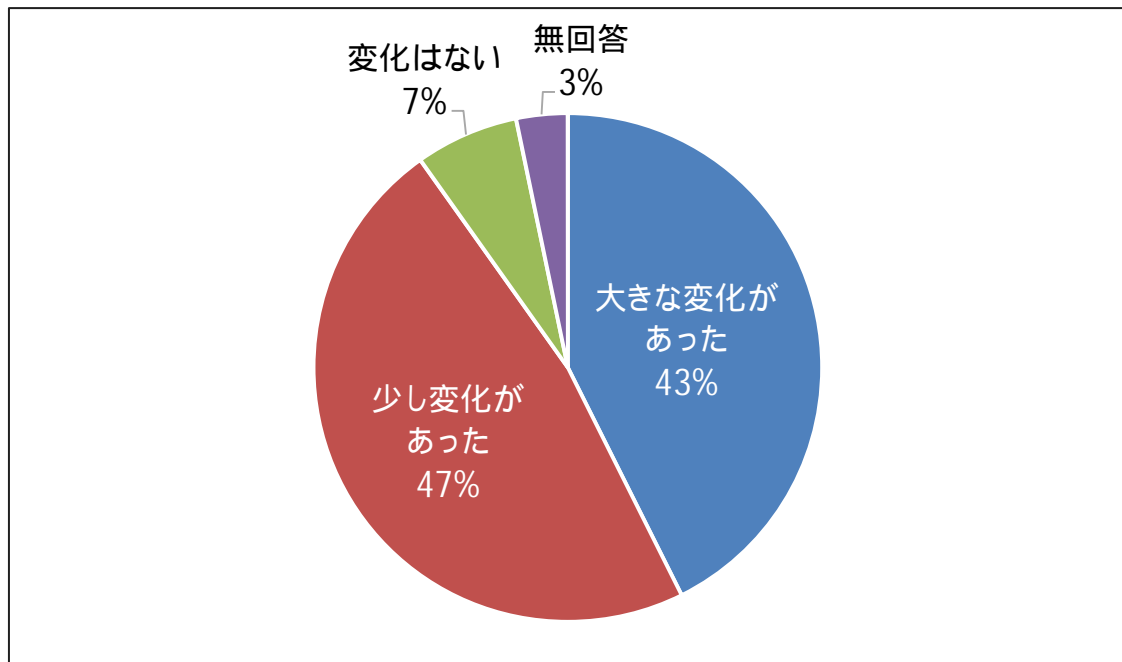
思わないと答えた方、その理由は？

参加する機会がない	5名
参加するほどのものがない	0名
その他	7名

その他

- ・多くの人に受講して欲しいから。
- ・もう一度受講したいが、後任の職員にも受けてほしい。
- ・講師の方が同じである場合は一度でいいかと思っています。色々な方の講話も聞いてみたいです。
- ・講師にあまり変化がないため。
- ・広く大勢の方に受講していただいた方が良くと思うから。
- ・遠いので。
- ・一回で十分である。

9. 本講座を受講して、意識に変化はありましたか？



具体的にどんな変化ですか？

- ・自分では理解しているつもり、行動しているつもり、表現しているつもりとっていたことが不十分であったと認識させられた。
- ・交通安全に今以上に意識を持ったこと。
- ・交通指導が子供たちやシルバーの方々にとって大切なこととは認識していましたが、その意識が高まった。他県の方々の熱い思いも励みになりました。
- ・全国の方々の意見、ご当地のやり方、横断歩道の渡り方一つにしても全然違うことが発見でした。ピーポー君の登場により、身近に交通安全が伝わってきました。児童生徒により良い指導を目指したいと思います。
- ・教室をする上で教材のヒントが欲しかった。他県の方がどのような教室をしているのか知りたかった。
- ・人に伝えるということの本質、意識の高さを教わりました。
- ・同じ交通指導者の方と会って話す機会は滅多にないので、各県各地域の指導法が聞けてとても刺激になった。
- ・話し方ひとつで相手がいい気分になったり、伝えたいことがしっかり伝わるということも取り入れて行きたい。
- ・今後の交通安全に対する意欲が上がった。
- ・全国の方々の意見を聞く機会があったので参考になった。
- ・1日目の「効果的な話し方」についてとても勉強になった。日ごろ幼児から高齢者まで年齢層を幅広く講習しているので聞き手の気持ちを考えることが出来てとても良かった。
- ・いろいろな市町での活動を知ることが出来て良かった。
- ・どこの県、市にもいろいろな工夫をしながらやられているということで、工夫1つでやり

- 方がたくさんあるということを知ることができた。
- ・もっと積極的に行うことが大切だと思った。
 - ・正しい運転の仕方やシートベルトなど、自分の現状を冷静に評価できた。日頃から正しいクセをつけようと思う。
 - ・子どもの心を引き出すためにどうしたらよいのか良くわかりました。
 - ・交通安全に関する知識を工夫して伝えて行こうと思った。
 - ・師走というくらいで12月はとにかく急がしい。
 - ・グループ討議でも司会をさせていただきましたが、皆さんがいろいろな意見を持っており、積極的に発表に参加する姿に感動した。
 - ・江戸川区でも本年度、小学2年生の自転車乗車中の事故があり、幼児向けの交通安全教育の必要を感じて保育課に働きかけをしましたが、教育依頼が増えることはなく仕方が無いことと考えていましたが他市の方のように「直接働きかける」強い姿勢が必要と大変力づけられました。
 - ・地域によって特色があり、同じにはできないが知識を得られて良かった。
 - ・指導方法や表現力、教材など参考にしていきたいという気持ちになりました。
 - ・今まで何気なく行ってきた交通安全にしっかりと知識を持ち、話し方やレクチャーの方法を見つけたことによってこれからもっと内容の濃い教室が実践できると思う。
 - ・交通指導に対する様々な人の熱意に触れ、自分ももっとがんばろうと思えた。
 - ・教えてあげるばかりでなく考えさせることも大事なことがわかった。
 - ・指導は命の大切さを伝える。どうやって守ることが効果的なのかということが大事だとわかった。自分の自己満足ではなく、分かってもらえるような伝え方を考えようと思った。
 - ・他県との交流により、どの県でも子ども達が交通安全教室の途中で飽きてしまうということがわかり、これからどのように子供達へ伝えていったら良いのかを考えていかなければと思いました。
 - ・話し方、相手への伝え方、まとめておくことの大切さ、話を聞いて改めて感じ、まとめ方の参考になりました。
 - ・他県の教材内容などを勉強させていただき、私の県でも取り入れたいと思った。
 - ・各地区の指導員さんとのグループ討議で幼児の交通事故を防ぐためにいろんな取り組みをされていることを知り、自分の地区ももっと工夫して交通事故防止に努めたいと思いました。
 - ・各講師の話、また全国からきた人の体験を聞いてためになった。
 - ・経験不足解消。
 - ・交通安全教室への考え方が違っていた。安全教室への意識が高まった。みんな交通安全の意識が高いのでビックリした。
 - ・意識の変化、というよりは今回学んだことや他市さんのやり方、ご意見を参考にして今後より良い教室、指導をしていきたいと思う。今回の研修で学んだことを活かし、一層努力して行きたいと思っています。
 - ・各地域の指導を聞いて自分の中で取り込めるものが多くあった。
 - ・一番に大切な心と道徳と笑顔、思いやり、自分を切磋琢磨することの意識改革です。
 - ・目的を明確にした話をするという意識が高まった。ディスカッションをすることにより、多

- くの気づきが生まれることや記憶に残ることを学べた。
- ・今までやってきた安全教室に取り入れて、色々チャレンジしたいと思いました。(ヒントがもらえた)
 - ・どうすれば伝わるかという気持ちが強くなった。色々な県、団体の方の意見をたくさん聞けて本当に有意義な研修でした。
 - ・行政、協会の人、指導員の方と、意見交換が出来良かった。講師もよかった。
 - ・色々な人の話を聞けて刺激になった。新しいものに取り組んで行きたいと思うようになった。
 - ・相手への伝え方により、受取る側の伝わり方が大きく違ってくるのがわかりました。
 - ・指導者としての意識、心構えが向上しました。
 - ・紙芝居の強弱をつけること、なりきること、学び、見ている人に与えるインパクト、こうした活動こそが少しずつ交通ルールにつながると思い、良い講習でした。
 - ・子供達への接し方(見方、話しかけ方)。
 - ・教室における自分の立場をいかに確立して指導教育成果を上げるかの目標が出来た。
 - ・同じような悩みを持ちながらもそれに努力しているのが判り、自分も更に努力して行きたいと思いました。
 - ・今まで参加することがなかった。
 - ・受講されている皆様、大変熱心で比較的年齢も高そうだが一生懸命。
 - ・効果的な話し方、実践で役立てられそうなことがあり、参考にしたい。グループ討議(自転車)、他の地域での取り組み等、勉強になった。参考としたい。いきいき運転講座、知ることが出来て良かった。
 - ・私は交通員で相手と話すことは朝の挨拶(おはよう)。高齢者相手はほとんどありません。運転している相手とトラブルにならないように気をつけています。
 - ・各自治体により、取り組み方の違いを感じました。組織的に行動していく重要性を感じました。
 - ・教材作成の考え方がわかった。
 - ・他県の指導員との討議等が良い刺激になった。
 - ・各都道府県の方々と意見交換をすることで、色々工夫されていることを知ったり、経験が浅いがために疑問に感じていたこともヒントを得ることができたりしたので、これからの交通安全教室に何か自分なりのやり方を考えようという意識が高まった。
 - ・他県の方と交流し、情報交換が出来たことで刺激された。啓発の話し方など。
 - ・みなさんのアイデアがすばらしかった。講師の方の話もとても参考になった。
 - ・自分から積極的に機会をとらえて伝えていかなければと現在の自分の職務立場を再確認させてもらえた。
 - ・言葉遣いの重要性。
 - ・教え方には準備が必要であり、また、集中させる手法等に工夫が必要であることがわかった。
 - ・仙台市の交通指導隊に入って 3 年目で、少しずつ交通安全に対する意識が向上していると思うがいろいろな都道府県で活動している方々のお話を聞いて、さらに深く勉強したいと思った。

- ・心構えや幼少児童に対する接し方、話し方。「幼児の視野の狭さ」、「子供の行動特性」。
- ・自分の発した言葉に責任という重みを感じました。
- ・自分にとって思いもよらない発想に触れたり、様々な工夫のある手法を知ることができた。
- ・他の参加者のやる気と真剣さには、心動かされました。自分もしっかりしようと思えた。
- ・教材づくりに活用したい内容が多くあったため。
- ・教材のヒントになりました。
- ・話し方講座で教わった言葉遣い等、安全教室や普段の登校指導で生かしたいと思っています。
- ・講師の方々や様々な県の方のお話が聞けて、色々な考え方があるとハッとさせられた。
- ・交通安全教室の進め方の見直し、交通安全に関する意識の確認。
- ・交通指導員としての認識が変わった。
- ・各地域の方と話をし、例えば自転車横断帯を削除する地域と仙台のようにこれから増やして行こうという地域がある等さまざまなことが起こっている多様性を知った。
- ・警視庁デモンストレーションの中で、警察官の言った「交通安全教育にゴールはない。」という一言が心に残りました。今の自分に「少し気負いがあったかな」と気付くとともに、「ホッ」とした気持ちになりました。
- ・話し方の構築について改めて勉強になった。グループ討議のはこび方、進め方、集中し、わかりやすかった。
- ・学んだことを生かして、県民の皆様の交通事故が1件でも減るように、今まで以上により努力していかないと申し訳ないと思いました。また、自分の行っている講座に間違いがないと、より確信も持てました。
- ・全国的な教室運営を知り、もう少し行政に訴えかけても良い点がわかったり、またプロ意識の高さを知り、今後の努力につなげていきたいといった心境の変化があった。逆に自らの良い点にも気づき自信が持てたこともあった。
- ・他県の方々の話を聞きけて参考になる。
- ・自分達と同じ県の中での交流はあったけれど、県外の方と交流してみることで、また違った考え方や指導の仕方がわかった。
- ・色々な都道府県のやり方、特性などを聞き、そのようなやり方もあるのだと知ることができた。
- ・今までは安全教室等で受講者の気持ちを理解せずに行っていたと思います。幼児、高齢者の気持ちになって活動をしていきたいと感じました。
- ・色々な取り組みを知ることができ、参考になった。もっとできることがありそうだった。
- ・意識の違い。
- ・グループ討議の時、個人的にですが、隣の方とお話をして「こうすれば良いよ」とか「私はこうしている」と聞くことが出来て、私も今後活用してみようと思いました。
- ・もともと知っている内容もあったが、改めて他者から聞くことで、より知識を深めることができたと思う。
- ・高齢ドライバーへの交通安全教室で、返納についての時間を多く持っていたが、それと

同じぐらい、どう「いきいきと安全に運転をしてもらうか」を考えてもらう時間を持つことが大切であるとわかりました。

- ・グループ討議で皆さんの意見を聞きながら、伝えるための情報が豊富なこと、知っていることを、その時ちゃんと言葉にして伝えることが出来ることに、すごいと思いました。もっと情報に敏感になり、伝える力が育つよう努力したいです。変化というより、更に…という感じですが。
- ・交通安全教室を行う時の視線の配り方に気をつけたいと思った。
- ・2月からの着任で、疑問であったり、自分には向いていないのではないかと不安な時期に本講座のおかげにより、今まで行って来たことは間違いじゃなかったのだと自信にも繋がり、同時にまだまだしなければならぬことを沢山見つけることができました。
- ・単に知識の伝達だけではなく、その方法。また、指導者は規範を守る道徳的な人間としてお手本になること。
- ・交通指導員として、交通安全マナーを守る気持ちが高まります。
- ・「おしつけ」ではなく「気づかせる」、本当にそうだなあ！！
- ・話し方や、児童を指導する時に色々なことが非常に役に立った。
- ・他地域の活動を聞き、今後の活動に取り入れる点があった。
- ・安全教育上、具体的な話し方等にもう少し工夫をしなければと思った。
- ・効果的な安全教育活動に対する悩みを解決できた。これからは自分を信じて、活動に専念して行く。
- ・人前での話し方や、間の取り方など。
- ・改めて交通指導のやり方の大切さを実感しました。交通事故をなくすため、これからも、しっかり活動していきたい。意識に関しては、山口先生の講義がとても役立ちました。
- ・交通安全指導員としての使命を改めて感じた。
- ・交通安全の基本にある「命の尊さ」を改めて考えさせられました。ルールを守る。マナーを守ることは、自他の命を守ること。そのための教育が重要であることを知りました。一人ひとりがかげがえのない存在であることを伝え、志を持って交通安全教育に努めていきたいです。
- ・都道府県、市町村においての安全教室内容が多少相違する点はあったが、勉強(やり方など参考)になりました。
- ・藤原先生の講義を聞くことによって言葉の伝え方、コミュニケーションの方法等、大切なことを教わりました。たくさんの人の前で話すことがなかなか上手に出来ないのも、先生の話の思い出しながら活動したいと思った。何気なく使っていた言葉の重さを痛感した。

10. どの講義が役に立ちましたか？(複数回答可)

交通安全指導における効果的な話し方(藤原 徳子)	115 名
紙芝居の演じ方(おの いづみ)	41 名
いきいき運転講座(池田 佳代)	63 名
プロドライバーから見た交通安全(篠塚 建次郎)	28 名

子どもの交通行動を理解するための心理学(山口 直範)	72 名
交通安全教育デモンストレーション(警視庁交通総務課安全教育係)	68 名
	(敬称略)

11. 具体的にどんな点が役に立ちましたか？感想等ご自由にご記入ください。

交通安全指導における効果的な話し方(藤原 徳子)

- ・講義をする藤原先生の話し方が素晴らしい。
- ・効果的な話し方。
- ・指導者として人として大切な心得を改めて感じることができ、実践していきたいと思えます。
- ・効果的な話し方を学ぶことが出来た。
- ・講話の際の目線の配り方や講話の組み立て方。
- ・効果的な話し方(相手の存在を認める対応)。
- ・「交通安全指導における効果的な話し方」がとても参考になりました。講習中の視点法、対話の仕方が良かったので身につけたいと思いました。
- ・指導者として、相手にどのように伝えたら良いか、声、目線、手振りの変化や進め方も一方的に話すだけではない参加型の講習の仕方もあり、交通安全教室のあり方、進め方、留意点、すべてにおいて学ぶことが出来た。
- ・話をする時の話し方などまだまだ経験が浅くわからない点があったので役立った。
- ・話し方、伝え方についてとても参考になりました。どのように伝えたら相手が聞きやすいのか、伝わりやすいのか参考になり、今後活かして行きたいと思えます。
- ・効果的に話をするまとめ方の方法が参考になりました。
- ・人に話をする時における話し方など。
- ・話し方や発声の仕方交通教室の幅が広がりそうです。
- ・話し方やディスカッションの取り入れ方等。
- ・効果的な話し方(相手とのコミュニケーションのとり方)、交通安全教室のときに実践してみたいと思えました。
- ・「効果的な話し方」は大変参考になりました。
- ・効果的な話し方、すぐに実践出来ます。
- ・効果的な話し方の藤原先生、テキストもあり、実際に行ったり今後いかせそうな、生かしたい具体的な内容で良かった。
- ・言葉遣いで相手との対人関係がスムーズになるので目線を同じにして対応することが大事とのことでした。
- ・講師藤原先生、自己責任感、多様な受講生に対応するには事実に基づく講話等基本的な考え方。
- ・基本的な内容として人前で話す時に大切なこと、幼児高齢者等、対象者ごとに有効な内容(教材)について、今後役立つ内容でした。
- ・訴える力、聴いてもらえる話し方を教えていただきたい。
- ・視点法を身に付け、上がらない様にしていきたい。

- ・効果的な話し方。
- ・全国の指導員の方々のお話が聞けたことを藤原先生の効果的な話し方が、今度役に立つと感じました。
- ・交通安全指導における効果的な話し方。
- ・プレゼン技術、視点法等。終わりのない交通安全教育。
- ・講義 交通安全指導における効果的な話し方。
- ・より効果的な話し方をするポイントが分かった。
- ・話し方の大切さ！伝える難しさ！
- ・指導者として効果的な話し方を知ることができたので、今後活かしていきたいと思う。
- ・日頃の講習でも色々と指摘を受けたりして学んでいるが、改めて視線の置き方、発声言葉遣いなどを身につけていくことの重要性を感じ、更なる習得を努力していきたいと思いました。
- ・人前で話す時の視線の配り方や交通安全指導の時の受け答えの仕方が役に立ちました。
- ・話し方のテクニックが勉強になった。
- ・交通安全指導にも安全教育にも効果的な話し方が非常に参考になりました。

紙芝居の演じ方(おの いづみ)

- ・紙芝居の話し方などはあまり参考にならなかった。
- ・紙芝居の演じ方では見ている子どもにいかに関心を持たせるかの方法等。
- ・紙芝居の演じ方(声の出し方)、交通安全教室のときに実践してみたいと思いました。
- ・口角の上げ方、口を横に広げること等自分の表現の中でまだまだ未知の部分学ぶことが出来、登場人物の幅が広がった。
- ・紙芝居の演じ方の基本をもう一度、学ぶことができた。

いきいき運転講座(池田 佳代)

- ・「いきいき運転講座」という新しい観点からの取り組みを知ることが出来て良かった。「運転させないではなく、元気に運転する」という考え方。
- ・私の地区では高齢者講習を一度も開催したことがないので、池田先生からいただいた資料を参考に講習をさせてもらう機会があればぜひ活用させて貰いたいと思いました。幼児教育でも使える教材だったので素晴らしいと思いました。
- ・資料が貰えたこと。(いきいき運転講座)
- ・池田先生のご講義ではシミュレーションも含め詳しい資料をもとに体験型の受講だったので、現場で即活用できそうです。ありがとうございます。
- ・いきいき運転講座の時間が短くもっと長くしてもらえれば更に理解が出来、現場に活用できると思います。
- ・講師池田先生、無料で作成したプログラムを配布「自己評価-場面予測-討論-気づき-討論のプログラム」教材が有効。

- ・教材が使えるようであった。
- ・高齢者の交通講話に「いきいき運転講座」を活用してみたい。高齢者に免許返納をすすめるだけでなく、今の自分の技量を認識させたうえで、楽しく安全に運転してもらうことも大切なことだと感じました。
- ・高齢者講習で、まだ演芸ネタ、手品ネタを行えば興味を持ってもらえると思っている旧態依然の思考の講師が減って意義ある講座の普及ができると思いました。
- ・いきいき運転講座の具体的な指導方法を聞いた点。
- ・いきいき運転講座は、職場にあるのは知っていたが全く活用されておらず、今回具体的に使い方を教えていただき、実際に使ってみようと思いました。
- ・「いきいき運転講座」のワークシートを高齢者の人達にぜひ！喜んで参加してくれそう。

プロドライバーから見た交通安全(篠塚 建次郎)

- ・本項目での記載は特になし。

発達心理学の観点による幼児・学童の交通行動について(山口 直範)

- ・子供達の発達について、視野についてや行動の特徴など。
- ・今までに子供に指導する際、時間に追われてバタバタと、子供に伝わっているか疑問に思うこともあったが今後は特性を理解した指導をしていきたいです。
- ・最後の「子どもの交通行動を理解するための心理学」のような、接するときに効果的な心理学などそういった講習がたくさんあると良いと思う。
- ・幼児、児童の特性を知ることが出来た。
- ・子どもの心理学が役立った。
- ・幼児に交通安全をする時は目を引くことをしなくてはいけないというのは大事だなと思いました。また内容をかえるのもいいかもしれないが、同じことを何度もしなければいけないと思いました。高齢者の教室ではいつも私達が交通ルールを教えるばかりなので何人かのグループに分かれて話し合いをして交通ルールを学ぶのも今後取り入れて行きたいと思った。
- ・山口先生の子どもの交通行動の講義は子どもを対象とする交通安全指導が多いので役にたった。
- ・最終日の子供の心理の話が大変良かった。形式的に教えるのではなく子供の気持ち、能力を理解した上で伝えることが大切だと思った。
- ・子どもの行動の基本(気持ち、原因)を考えられる(受けとめられる)よう、声かけの際に相手に対する心がけを持つようになりたい。
- ・最後の心理学「子供達が自ら学ぶ(考えさせる)機会」を多く取り入れた教え方をしていければと感じました。
- ・子どもの交通行動心理学、大変良かった。
- ・山口先生の心理学が参考になりました。お話の仕方も興味がわきました。
- ・子どもの特性に関する講座も非常に参考になった。
- ・交通行動を理解する心理学。「幼児の視野の狭さ」、「子供の行動特性」。

- ・大阪国際大、山口氏の話はとても参考になりました。ぜひとも、実践します。
- ・子どもの発達段階を知り、適切な言葉かけ、行動をすることが大切であると、改めて実感しました。
- ・心理学は幼児の指導をする時に子供の立場、目線になり、子供に考えさせる領域を残す指導をできたらと思いました。大変参考になりました。
- ・園児、小中学生、高齢者への効果的な話し方、相手の心に残る指導方法が役立つ。
- ・山口先生の講義がとくに役立ちそうです。
- ・子どもの交通行動を理解するための心理学、十分に理解が深められました。

交通安全教育デモンストレーション(警視庁交通総務課安全教育係)

- ・子供だけ無く高齢者にも体操が効果的で題材はなんでも良いということがわかりました。

【グループ討議】

- ・「グループ討議」別々の県の方々の貴重な意見が聴けました。所属が様々なので参考になることも多かったです。(グループ討議を2回にし、また、別グループの方にも！！時間を短くして)
- ・グループ討議で各県からの意見を聞き、活動状況を更に手法に投げ、我が市でも復命していき、今後の精進を図りたい。
- ・グループ討議も色々な県のやり方が聞いてよかったです。
- ・グループ討議では多くの考え、意見を聞いて参考になった。
- ・討議することで他県の取り組みや考え方を学べた。
- ・グループ討議の時、他県の安全教室の行い方がきけたので良かった。
- ・グループ討議では今までのマンネリした考え方がいかにムダだったかと思うことができました。

【事例発表】

- ・各種取り組み。
- ・長崎県の方の経験、企業との取り組み、教材に大変刺激を受けました。具体的な指導方法を教えていただいたことも大変良かったです。
- ・事例発表がよかった。みなさんが色々工夫されていた。
- ・事例発表。それぞれが工夫して受講者を引き付けるようにしておられる点、大変参考になりました。
- ・事例発表の交通安全教室が良かった。

【その他】

- ・各行政の取り組み方に以前は聞いていなかったものが伺えたので大変有意義な会議だった。
- ・若い女性(母親)が多く想像していたよりずっと熱心だなあと感じた。
- ・学んだことを活用したいと考えたこと。

- ・すべての講義にうなづくばかりでした。
- ・話し方、反射材の使い方、導入のやり方。
- ・ 停止線の捉え方を勘違いしている人が多いため、正しく教える必要があること。 行動変容につながるように指導をすること。
- ・話し方、伝え方、興味の惹き方。
- ・一番は他市の取り組みを聞き、自分の区の良いところ不足しているところが分かったこと。
- ・各都道府県の交通教室のあり方など様々な意見を聞くことが出来たので良かった。
- ・指導するのではなく、自分が勉強させてもらっていると自分自身が何事にも切磋琢磨することの大切さを教わった。
- ・現時点の最新の手法を学べました。映像を効果的に使用方法、大きなポスターを使用する方法、伝え方の手法、特に各地の方々とのグループ討議は気づかされることが多かったです。
- ・交通ルール、マナーを守らせることの難しさ(守るか、守らないか)や安全に道路を通行するための技術、知識、技能を身に付けることの大切さを学んだ。
- ・交通安全に対しての指導者として、内容は大きく逸脱していると思わないが一寸言葉を入れること等で説得が増すことが理解出来て今後も研究して行きたい。
- ・日常生活におけるコミュニケーションの重要性を改めて痛感しました。相手に正しくことばを伝達する手法について興味がわいてきました。
- ・グループ討議や各地区の発表。
- ・普段自分の行っていることとの比較ができ、自分に不足している点や、改善点のヒントを得ることができた。
- ・すぐに使える具体的なことが見聞きできたのが良かったです。
- ・ほとんどの講義内容が普段に生かせると思いました。
- ・様々な立場の方達のお話が聞けたこと。
- ・「内容の組み立て方」、「コミュニケーションの取り方」、「ラリーから体験したシートベルトの大切さ」、「標識体操」が良かった。
- ・実例を見せていただくと、今後の活動にとり入れやすいと思いました。
- ・他所属の方の指導方法を聞くことができたこと。
- ・交通安全教室に活用できる。
- ・安全教育担当になり、半年ちょっとの今、毎日の安全教室を上手に行うことに力を注いでいた自分であったことを知らされた。今回の講座の中で、児童達へ自分の知識をどれだけ伝えられるかと問われると、ハッ！とする思いをした。ただ、一方的に伝えるのではなく、子供達に「その気」にさせる技術に欠けていたことを知ると同時に、その大切さを知った。
- ・今後すぐに活用できることが多い。
- ・特になし。
- ・いろいろなものを活用しながら、いかに上手に交通安全を伝えていくかということがとても参考になりました。

12. 今後、改善してほしいところと、また改善策があればご記入ください。

- ・同じ部屋で 4 つに分けて仕切りを二つしていても声の大きさや笑い声で話の腰を折られたようになるのは残念です。
- ・いきいきの所でもう少しわかりやすく教えていただければうれしかったです。
- ・事例発表はあと 2 組くらい増やしたほうが参加者にとっても効果があると思います。
- ・講習を主にやられている人と実際に道路で指導している人との違いを上手に利用するとよいのではないかと。同じにしても良いし、あえて混ぜても良いし、偶然でなく意図的に利用してみてもどうですか？
- ・グループ討議に関しては、事前にある程度筋立て、論理構成を整理したものからスタートした方が良いでしょう。司会者が遠慮がちになると発言がバラバラになり整理されたまとまった形になりにくい。
- ・2 時間ある講座は途中で 10 分休憩を入れて欲しい。
- ・内閣府から、この教材でこのような教室をするようにと促して欲しいです。警視庁の方のやり方や流れを指導員にも教えてほしい。参考にしたいです。
- ・2 日目のグループ討議の時間が短く感じた。
- ・紙芝居や教室への取り組みを実践していただくときに写真撮影だけでなく、録画も可能にして欲しい。録画はダメだと問い合わせたが録画している方がけっこういたので、どちらにするのかはっきりして欲しい。
- ・グループワークが入る講義は時間を長くしてほしい。いきいき運転講座の時、始めは何をしているのかわかりにくかった。
- ・交通安全指導員(指導者)養成講座(実際の指導者)だけでなく事業を作る者(方針を決定する者)のための講座等、集まって話し合う場を作ってほしい。事例発表においても、幼稚園への演技を見せるだけでなく、方針や方向性を発表してほしい。課題や問題に対する解決策や取り組みについて論理的紹介がほしかった。
- ・音響の調整、パワーポイントにかかる PC の準備は事前に準備しておいて欲しい。インカムを使用するのは良いが、マイクに向かって話す声が大きくて耳障り。
- ・他県で便利に利用している教材の展示を増やして欲しいです。
- ・一番後ろの席だったが、コンタクト等をして、小さい字や、絵などが見えづらかった。事前の送付資料に視力の欄をつけてもらえれば良かった。
- ・教材展示についてですが、様々な場面で皆さんに活用していたすすm だけのようにとの思いもある展示ではありますのでこの県の使用物であるかということ全体の人に一言加えていただくとありがたいと感じました。見た方もどの県に質問すれば良いのかわかりやすいと感じました。
- ・職場にもどってから報告し、指導員でシェアするのですが、同じ講師の方が続いているので新しい取り組みも期待したいです。
- ・テキスト、レジュメと講義内容のマッチング。
- ・小さなことですが、配布資料は資料一覧順に並べてもらえると確認しやすいです。
- ・教材を置かせて欲しいです。(持ち帰るのが重いので)
- ・いきいき運転講座のテキスト ページですとか説明しながらやって欲しかった。時間

をもっと使ってでも。

- ・篠塚氏の話は論点がイマイチはっきりしなかった。高齢者の話についてはプロドライバーの方には難しいと思う。
 - ・篠塚先生のご講義は少々わかりにくかったと思います。3日目に事例発表があり参考になりました。可能でしたら、持ち時間をもう少し長く、交通教室デモンストレーションという形で見せていただけると、より一層参考になります。(できれば5、6組程度)
 - ・特にありませんが、盗難事件が起きてしまったことが残念でした。改善ではありませんが、手荷物管理の徹底及び防犯カメラの設置も検討が必要と思います。
 - ・幼児、諸学生、高齢者への道路への飛び出し、信号機のない場所での交差点確認(左右前後)交通事故原因を踏まえた指導内容。
 - ・スタッフの方々、お忙しいとは思いますが、事例発表の時、さっとお手伝いしてあげると嬉しかったなーと思います。(道具をよける片付け)ありがとうございました。有意義な3日間でした。
 - ・紙芝居、プロ過ぎて1時間程度の講座では・・・。
 - ・私は交通指導員で警察官ではないのですが、勘違いで違反者に対しての説得が元でトラブルを起こす場合の実例を聞いています。
 - ・日頃の地道な行動の積み重ねと思だと思います。各自治体間の連携も考え、ホームページへのアップロードをしていただきたく思います。
 - ・討議について、テーマの中心概念をあいまいにしてはならない。明確にすると一層良い。
 - ＜例＞中心「シートベルトは全席着用の義務がある」(後部座席一般道、チャイルドシートの使用に課題) それはなぜか。啓発活動事例。 今後の対応
 - ・教材展示をさせていただきましたが、出展している県名、教材名、教材についての簡単な説明、問い合わせ先等を明記できると良いと思います。
 - ・新人研修としてならば、もっと基本的なものが良いかと。高齢者が何才以上か、信号の赤が左かと初歩的なものを知らない方から、テクニックを知りたい方と受講者幅が広すぎる。
 - ・各講師の先生方の紹介が資料の中にあると良かった。
 - ・講義内容を選択し、いくつかに分かれて受けても良いのかな、と思いました。
 - ・具体的な内容を知りたい。教材を実際に見たい。どんな使い方をしているのか、そういうものの展示があればうれしい。
 - ・グループ討議終了後、司会者・書記・発表者の打合せ時間をとっていただくと良いと思います。他の人の休憩が長くなっても、それはそれで良いと思います。
 - ・アルコール健康障害基本法が成立し、現在、県市町村での条例化が進んでいる現状ですが、その中に「正しいアルコール知識を普及する」ということが含まれています。正しいアルコールの知識について、もっと全国的に講師は学ぶべきだと考えています。その中で、スタッフの朝の挨拶で「昨晚は沢山飲み過ぎたでしょうが・・・」という言葉聞きとても残念に思いました。
- 例え、車で運転をせず、地下鉄等の移動であっても昨日の酒が残る状態での講習参加はいかがなものでしょうか？スタッフの方にもアルコール1単位が体から分解して抜

けるのに 4 時間かかる知識を得てそういう発言なきようお願いいたします。お酒が飲めない体質の人、病気で飲めない人もいるのに、余りに軽い発言に驚きました。是非改善をお願いします。私達、講座に酒が残って、いる様な状態で決して参加はいたしません。

- ・もっといろいろな県の教材や発表内容を見たいと思った。私達の地区では2ヶ月に1回新しく幼児用の教材を作成しているので教材に悩むことがあるため、いろいろな意見を取り入れていきたい。
- ・グループ討議をすると色々な方とお話しが出来るので初日でも良いのかなと思いました。
- ・席が後ろだと前が見えにくい。 端の席だと反対側の人と関わることができずに残念。
- ・貴重品の管理について、運営側から周知があっても良いのでは、と思います。予定のあった人は、40 分近くも拘束され、時間に遅れ、大変迷惑であったと思います。先に予定時間のある人優先等色々工夫もできたのでは、と思います。
- ・事前のしおりを送付いただく際に、グループ討議のグループ分けとテーマが知れたら、事前に準備することが出来、もっと密な討議にもなるのでは？後、事例発表者と内容も。
- ・書き取りが間に合わないのでスライドで出す資料はなるべく資料の方にも記載してほしいです。
- ・映像、音声の最終チェックを行ってほしいです。せっかくの講和がもったいなかったです。
- ・もっと安全教室現場での独自の改善策等、具体的に話し合いをしたかった。
- ・1 つの講座で 2 時間は長い。1 時間ごとに休憩がほしい。事例発表を多くしてほしい。他の人と交流する時間がほしい。
- ・グループ討議の時間が短い。各県からの意見や事例を述べることであれば参考になるのではないのでしょうか。全体発表の時間も短い。清書でなくともよいので参加者に事前に配布していただければ、メモすることから聞くことに集中できたと思う。そのため、全体発表は 3 日目に設定すれば、改善できると考えます。

13. 講師の方への質問等ありましたら、ご記入ください。(複数記入可)

講師の方へいただいた質問事項については、各講義報告のページを参照ください。講師の方から質問に対する回答もいただいております。

14. 全体の日程についてご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・日程の 1 日の長さを 9:00 ~ 15:00 にして 4 ~ 5 日夏休み(子供たち)期間にして欲しいです。通勤ラッシュを味わうのは大変です。(朝、夕)半分(地域)に分けたほうが良いのではと。(無理ですね?)
- ・とても良かったと思いました。
- ・私の家からですと始めと終わりの時間はちょうど良いです。昼がコンビニ等、あるいはお弁当を持ってきてなど食べる場所があれば、昼食時間は十分ですが、2 日目は、発

表者が昼時間に出遅れて忙しかった。

- ・体験が出来る講座を増やして欲しい。
- ・せっかくいろいろな県の方とかかわれたので交流会を設けていただけたら(初日の夜に)もっと情報交換が出来たと思います。
- ・各県から来ているので情報交換の時間があると良いですね。
- ・2泊3日は長いと思っていましたが、充実したあつという間の3日間でした。
- ・1日目、3日目が半日で良かった。
- ・今後の自分に役立つ話が聞けたのでこれからの活動で発揮したいです。
- ・最初か最後に交流を兼ねて呑み会など、全体で話し語れる場があれば今後、この講習が終わった後も連絡をとりあえるのではないかと思う。時間は長くて良い。
- ・当日遠方より参加される方もいると思うので、難しいとは思いますが、開始時刻をもう少し早めて、講義や休憩の時間を十分確保してもらいたい。
- ・日程1日~2日程度で関東圏内版を開催して欲しい。(事業決定者側、市の職員向け討議の場)情報交換の場がほしい。
- ・これで良いと思う。
- ・内容が盛り沢山なので充実している。されど座学の時間ばかりだと途中でだれてしまう。グループワークや自分達で学ぶ時間が欲しい。
- ・良かったです。

15. 今後、講座で取り上げてほしいテーマ等ありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・ 実体験から学び得たものの講話。 デモンストレーション(各県別の警察関係の方々) 話し方・聴き方の講義 保険の大切さについての講義。
- ・手法や自転車が多くなるので保険のことをもう少し教えていただければ。
- ・自転車の乗り方の指導の実際。
- ・高齢ドライバーの運転事故防止につながるような項目をより深く絞って討論、検討がされてもよいのではと思います。
- ・自転車に対する安全運転。
- ・藤原先生、山口先生の講義は自分を振り返り今後の交通指導の立て直し、目標にするために大変役立ちました。ぜひ今後も続けていただきたい。
- ・各県のDVDによる自転車教室や歩行訓練の様子、活動内容を知りたいです。
- ・保護者の方に対する交通安全教室(成人教育について)。
- ・各県、地域の教室で行っている教材、寸劇等の紹介、実践も見てみたいと思った。
- ・今回のテーマ良かったと思います。
- ・ 国としての交通安全に関する方向性。 IT技術等を使った最新の新しい取り組み、事業。 企業とのコラボレーション企画。 来年度こちらの講座がありましたら事例紹介をさせてもらえますでしょうか？
- ・日頃聞くことの出来ない、とても重要なお話をたくさん聞くことが出来ました。
- ・高齢者の交通安全教室についてお願いします。

- ・中学生、高校生への効果的な指導法。
- ・各地区どのような教材で講習されているかもっと知りたいです。
- ・紙芝居を見せるような教室ではないので、寸劇や大型道具を使った教材を見たいと思いました。もっと事例発表(実際にやっている交通教室)を増やして欲しい。
- ・腹話術についての講義があると嬉しいです。(独学では限界があるので)
- ・交通安全教室での色々なグッズの使い方、歌、人形使用、紙芝居などを使った(作った)事例を多数知りたいし、可能なら作り方も講義してもらえたら参考にして生かしていきたい。
- ・グループ討議や事例発表等で触れられていたこと。
- ・高齢者の事故が増加すると思われるので今後の安全対策等。
- ・他の人々がどんなことを教室でやっているか見て参考にしたい。せっかく全国から集まってきたのでみんな(自分達のグループで)1回、一つで良いから発表できればいいと思います。教室で即実践できる小道具やマジック等。
- ・もっと映像による手法を見てみたいと思いました。
- ・啓発物の見本の展示。
- ・20代~30代、高齢者への交通ルール、マナーに対する指導の仕方。紙芝居の裏表作り方、終わってから空洞になっていないこと。
- ・今回グループ分けしたようにそれぞれの指導の専門の方の要領等について講話いただけたら助かります。(幼児、児童、高齢者、自転車、反射材、シートベルト、それぞれの効果的な指導について)
- ・いきいき運転講座の開催の仕方、進め方。
- ・交通指導員の日常の仕事が交通法規の改正でどのように変わるか等の知識を高める講座を取り入れて欲しいです。
- ・高齢者に対する交通安全教育。免許返納制度に対する意識。広報を推進しているが地域的にハードル(インフラ)もあり、他県の実情等。
- ・教材、作成、実技。
- ・誘導棒の使い方、交差点での児童の誘導の仕方等。
- ・仙台市の交通指導隊に入って2年4ヶ月、小中学校前での朝の立哨、春秋の交通安全週間のキャンペーンや、お祭り等の街頭指導が主な活動で、先輩隊員の指導を受けるだけでした。各都道府県の各機関の取り組み方や、役割分担など知りたいと思いました。
- ・毎年同じ教材を使うことが出来ないため、予算をかけず、また、持ち運びしやすい手作りの教材の作り方など取り入れていただきたい。他の指導員の方々からもどんな教材を使っているのか聞かれました。そういった意見交換等もあればと思います。
- ・どのようにすれば、交通安全教室に積極的に参加してもらえるか、どのような工夫ができるか、といったことを教えてほしい。
- ・交通安全教育技能コンクールで入賞したグループによる発表があると嬉しいです。
- ・自転車運転者講習制度の詳しい解説、免許返納制度の説明。
- ・高校生の自転車マナーやしつけ。
- ・アルコールの正しい知識。飲酒運転防止講座。交通対策として(「高齢者の事故」・「幼

児、児童の交通時の事故」・「飲酒運転事故」対策と言われているのに)、飲酒運転対策がこの講座から欠落していると思います。

- ・デモンストレーションの回数を増やして(教材の持ち込みなどがあると近辺の方に限られてくるのかもしれませんが)参考にしたいと思いました。(事例発表もありましたが実際の話し方、言葉の選び方なども見てみたいです)
- ・情報交換の場であるグループ討議に多く時間を取ってもらいたい。
- ・幼児の交通教室だけではなく、高齢者や自転車の実際の進め方の講座があったら嬉しい。
- ・高齢者(特に高齢ドライバー)に対しての効果的な指導方法。「いきいき」もとても良かったが、もう1つほど違うやり方があれば勉強したかった。
- ・交通安全啓発資器材の紹介などしてもらいたい。「この資器材はこう使っています」とか「これはどこで購入できますよ」などの情報が知りたい。
- ・手作りの教材について取り上げてほしい。
- ・自転車の正しい乗り方。
- ・誰でも作れる教材にもっと時間をかけてほしいと思いました。
- ・免許返納について。
- ・基本的な座学も、すごく勉強になりましたが、もっとたくさん事例発表を見られたら更に充実すると思いました。
- ・今回の養成講座を受講し、今後の交通安全指導の活動に役立つので、講義各プログラム「交通安全指導における効果的な話し方」等を地元の交通安全指導員へ研修したいと思っているため講義で使用されたPP(パワーポイント)のDVDをもらうことが出来ないか。よろしく願いいたします。
- ・グループ討議を行ったが、その各検討項目について専門的な人の見解等を聞いてみたい気がするので、その検討項目を全部とは言わないが、一つ二つ、講義に入れてもらえればと思う。
- ・他の都道府県からの持込み教材の展示や資料の配布コーナーが設置されてあれば良かったと思いました。
- ・山口先生の講座、もっと聞きたかったです。

16. その他、講座全般にかかわるご意見・ご感想・ご要望等ございましたらご記入ください。

- ・この講座で知り合いになった方々に感謝申し上げます。今後も繋がっていけるかと存じます。指導者同士の意識レベルが向上できました。他県のホームページを見ることに繋がりました。自治会でも「いきいき運転講座」お話ししていきます。3日間大変お世話になりました。事例発表をして下さいました皆様、感謝申し上げます。名前の自己紹介、参考にさせていただきます。
- ・この度皆さんと知り合いになり立場が同じということがわかりうれしかった。また、泊まることが出来ない方で遠い方は大変だなと思い、どうにかならぬのかなと思いました。
- ・山口先生の「子供の交通行動を理解するための心理学」のお話は大変良かった。私の

全く知らなかった「目からウロコ」の部分が何ヵ所もあった。子供の親、一般ドライバーはどれくらいわかっているのだろうか。

- ・初めて受講するので、すべてが勉強になり、他所から来られた方とも話が出来、いろいろ吸収できました。
- ・”プロドライバー～”は必要なかった。それなら自動車学校の先生の講習の方がためになります。資料ももう少し内容が欲しい。プロフィールのページはいりません。たぶん話す場所が違うと思われます。その分、藤原先生、山口先生に時間を分けて欲しかったです。残念な事件がおきてしまいましたがとても有意義な3日間でした。お世話になり、ありがとうございました。
- ・2 日目も無事に終わってくれたと安堵もつかの間、とんでもないハプニングに出会いびっくり致しました。関係者の方には大変気の毒でした。でも対応が的確でした。ご苦労様でした。
- ・みなさんいろいろと工夫されて素晴らしいと思います。啓発活動などを勉強させていただきました。大変お世話になりありがとうございました。
- ・財布が無くなったことで驚きましたが、充実した実りある研修でした。
- ・席やグループ分けですが、せっかくの機会ですので出来るだけ違う都道府県の方と交流できるようにご配慮いただけたらと思います。
- ・ の心理学がとても参考になりました。
- ・いきいき講座がもう少しゆっくり出来たら良かったと思う。全体的に参加しながらの研修だったのであつという間でした。いろいろ学ぶことが出来て良かったです。
- ・3 日間は長いと思っていましたが受けてみるともっと学びたいと思いました。別の講習等があったら参加したいと強く思いました。
- ・テーブルクロスは緑色でステキだったがメモ(テキスト)など書きづらい。
- ・他の市の方が実際にやっている教室が良かったです。自分もチャンスがあればやってみよう(マジックの自己紹介)と思います。もっとパターンを見てみたかったような気がします。
- ・お世話になりました。ありがとうございました。
- ・今後の活動に役立てて行きたいと思います。お世話になりました。ありがとうございました。スタッフの皆様お疲れ様でした。
- ・3 日間お世話になりました。自分の地区に学んだことを持ち帰り、これからもっとより良い講習ができるように努めたいと思います。ありがとうございました。
- ・講座での座学もとても勉強にもなるが、指導員としての実践的な部分も学べるとありがたい。(グループ討議のように)他市の意見や教室内容を知り意見交換出来る期間がもっと欲しい。
- ・今回のような講座に参加できたこと、心よりありがたく感謝します。自分自身の意識改革から始まり、数々の安全教室での実例等、心に響くものばかりでした。自分なりの形にして今後色々な安全教室などに取り入れて頑張っていきたいと思います。13 日講義終了後の盗難事件、いきなり全員が疑いをかけられ、持ち物検査される行為は問題ありではないでしょうか？いきなりの検査前に詳しい状況と経緯説明等があっても良かったのでは？私達は交通安全に従事し、警察とも連携し地域のために微力ながら毎日を

頑張っている。各県の推薦を受け、この研修に参加させていただいている方々ばかりです。もしこの中に本当に盗人がいたとしたら今回の養成講座に汚点を残して行くことが残念でならないし、とても悲しい。2度とこんな悲しいことがなく、楽しく充実した講座であるよう、切に願います。

- ・座学ばかりなので、実技(運転等)や体験や体感が出来る講習を取り入れてみては？(死角、夜間の反射材等の見え方等)1日の手当てが少なく交通費、食事等がまかなえない。
- ・スタッフの皆さんお疲れ様でした。お世話になりました。講師の方みんな良かったです。時間もきちんとしており、スムーズな進行だったと思います。特殊な問題発生！！大変でしたね・・・！！
- ・昨日の盗難事件の対応について。ほぼ説明なく、いきなり荷物検査とのこと。まずは各自まわりを確認したりして探すということもあるのでは？その場で45分も待たされ、しかも警察官が検査するなら、その旨伝えるべき。説明が無さすぎ、いきなり全員犯人扱いはいかがなものでしょうか？
- ・お財布を紛失した方は確かにお気の毒でしたが、やはりそれは自己管理不足でもあったと思います。それに於いて我々が真っ先に疑いの目を向けられ、いきなり持ち物検査をしますと告げられたことは正直大変不愉快な気分でした。まず、最初にテーブルの下などに落ちている可能性も考えて皆さんに足元を確かめていただくなど、段階もあったのではないのでしょうか。そうならば皆さんのお気持ちも少しは納得がいったかと思います。(40分待ったので・・・)なんとも後味の悪い養成講座となってしまったのがとても残念です。
- ・会場外のお茶、お水は本当に助かりました。ありがとうございました。
- ・今回の講座の相手に対しての会話について指導の仕方を学びたい。
- ・教育担当となっていないのが現状ですが今後の指導員活動に役立てたい。
- ・各位の名札の字が小さい。
- ・販促物の説明時、資料名だけを読み上げ、参加者が確認できないまま終わったが進行係が現物を見せながら説明して欲しかった。進行係の応用が利かない(今まで見たことがない)。大阪市の事例発表時、パワーポイントの活用時にスクリーン前の前組の事例発表(寸劇)の信号機等がそのままになっているにもかかわらず、また、回りから言われているにもかかわらず、自分で動こうとしていない。また昨日の事件の件は最初に伝えなければならない。「財布などの件」が後になったのは責任者に大いに問題があるのではないのでしょうか。
- ・幼少期の交通安全(親、地域巻き込んで)の充実した取り組み、高齢化社会の交通安全意識を高め、事故のない社会になってほしいと一層感じました。
- ・片寄った知識ではなく広く講演されていますので知識を広めるのは良いことです。
- ・各自治体の活動が一目で理解出来る仕組みを考えていただきたいと思います。非常に温度差があることを痛感しました。ポスターやチラシ等で改善できると考えています。
- ・プレゼンの際、スピーカーに接続させていた方が音声は大きくなる。一部印刷物のとじ込みが不完全であった。(4の講座)
- ・全国で御活躍されている交通安全指導者との交流、討議、著名人の講演など内容が

- 充実していました。ありがとうございました。
- ・実用的な講座が受講できてよかったです。
 - ・持物検査があった点、残念でしたがいたしかたなかった。
 - ・話し合いが良かった。(4人で)
 - ・講座案内に服装についての記述がなく迷いました。(正装とか準正装、あるいは交通安全の活動服なのか?と)。試験が無いのがとても良かった。安心して最後まで取り組めた。
 - ・今回受けさせていただいた研修は、とても有意義なものでした。持ち帰った資料等を大いに活用させていただき、さらに今後の活動に役立てていきたいと思えます。
 - ・グループ討議で全国の皆さんの意見や実施している活動を聞いてよかった。
 - ・同僚に、来年受講することをすすめたいと思えます。あっという間の、大変充実した三日間でした。ありがとうございました。
 - ・とても参考になりました。ありがとうございました。
 - ・盛り沢山な内容で、他の参加者の方や色々なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。普段の活動に取り入れられるところは、活用していきたいと思えます。
 - ・3日間ありがとうございました。他地域の様子を知る良い機会となり、今回の講座をもとにさらに努力していきたいと思えます。
 - ・懇親会のようなものがあればうれしいです。討議とか話し合いの場ばかりで、せっかく出会った他県の人との交流をもつ機会がほしいと思えます。
 - ・今まで私が参加した研修会の中で、一番有意義な研修会でした。全てが勉強になりました。
 - ・盗難事件の対応について問題が多すぎる。
 - ・とてもよい学びになりました。ありがとうございました。
 - ・短時間で、指導者としての話し方、わかりやすかった。集会での討議の仕方など本当に集中できてすばらしかった。
 - ・1:交通安全教育指針の改定版の配布。若い方はこの指針があることさえご存じない方がいらっしゃるかもしれません。指針の配布をして、まず基本、これに従うべき、基本をおさえた講習が必要かと思えます。2:、司会の女性の方が、「いねむり」をされていました。仕事として臨んでいる訳です。面前での居眠りは、講師の先生にも失礼ですし、まして、内閣府の講習です。眠りたくなるようなら、ドリンクを飲むとか、方法はあります。若いからとか、では許されない行為だと考えますし、とても残念でした。事前の細やかな配慮に比べ、現状が残念でした。
 - ・グループ討議会の席も予め決まっていた、座席表があるとお名前を照らし合わせながらお話が聞けて良いかと思えます。(自己紹介では覚え切れない)
 - ・おすすめのホテル案内が遅いので決めた後になったので早めだと助かります。
 - ・グループ討議のテーマ分けを事前に知らせてくれるともっと有意義な話し合いになると思う。
 - ・交通安全の重要性を再認識した。
 - ・座席が1番後ろだったこともあり、スクリーンが見えづらい時があった。特に下の方の文字が見えなかったこともあり、その話のまとめ部分が見えない形になってしまった。

- ・旅費精算提出にもっと簡素化できないでしょうか？手間がかかりすぎです。
- ・机に番号、名前の表示をしてもらいたい。(わかりづらいです。)
- ・グループ討議結果発表の時間を増やしてほしい。実技的な講習もしてほしい。
- ・座席表はありましたが、席にも番号が置いてあると、なおスムーズに着席できると思いました。また、スタッフの方の案内も少なくなくて済むのでは。3日間、大変お世話になりました。
- ・司会、進行の方、早口でした。もう少し「ゆっくり」。配布した資料を確認する様にしてほしかった。
- ・講義後に質問時間がなかったので、講義の中に質問時間をもうけてほしかった。(講義が一方行のものになっている)
- ・他の都道府県の方々と話す機会がグループ討議以外なかったので、懇親会を開催する等あったらと思った。
- ・ロビーにお茶、お水、用意して下さって助かりました。持ち帰れる資料(他地域の様子が知りたい)がもっとあればいいのにと思いました。有意義な3日間でした。ありがとうございました。
- ・とても有意義な3日間でした。ありがとうございました。楽しかったです。
- ・主催の方は大変だと思いますが、各県、各市から来られた方ともっと交流できる時間があれば良かったかなと思います。2日目の夕方、紛失なのか盗難なのか不明ですが、事件が発生したことに心を痛めています。